

# 2016

あ い ち

**食 育**

い き い き

レ ポ ー ト

平成28年7月

愛知県食育推進会議

## はじめに

愛知県では、食育基本法に基づき、県民一人一人が食の大切さを理解して、主体的に食育に取り組むための指針として、平成23年5月に第2次愛知県食育推進計画である「あいち食育いきいきプラン2015」を作成しました。

このプランで掲げた「食育の実践による健康で活力ある社会の実現」のために、知事を含め、会長として、学識経験者、教育関係者、保育・社会福祉関係者、医療・保健関係者、農林水産業関係者、食品関連事業・企業関係者、消費者団体関係者等により構成される「愛知県食育推進会議」を中心に、県、市町村、団体、事業者などがそれぞれの役割と特性を生かし、様々に連携・協力しながら継続的な県民運動として食育活動を展開しています。

この度、このプランの最終年度を迎え、各目標の達成状況について整理するとともに、平成27年度に行われた県内の食育推進の取組の中から、特に①新規性のある取組、②特徴的な取組、③複数の関係者が連携して行った取組をレポートとして取りまとめました。

新しいプランに向けて、本書が皆さんの食育活動の幅を広め、それぞれの地域に合った食育推進の一助となれば幸いです。

# 目次

I 「あいち食育いきいきプラン2015」の最終年度を迎えて	1
II 平成27年度の主な取組の状況	12
1 食を通じて健康な体をつくるために	12
2 食を通じて豊かな心を育むために	21
3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くために	33
4 食育を支える取組	38
III 県や関係団体の取組一覧	44
IV 愛知県食育推進会議について	51
付録 愛知県における平成26年度、27年度の食育の優良活動表彰の受賞者について	52

## マークの説明



は、健康な体



は、環境に優しい暮らし



は、豊かな心



は、食育を支える取組

を表現しています。

# 平成27年度の主な取組の状況

## 1 食を通じて健康な体をつくるために



### (1) バランスのとれた規則正しい食生活の実践

- ◆ ここにこ栄養相談[豊橋市] ..... 12
- ◆ 朝食にプラスワン（乳幼児健診 集団教育）[稲沢市保健センター] ..... 13
- ◆ 保護者及び乳幼児の朝食での野菜摂取について問診 [大府市] ..... 13
- ◆ 学校で使用する食育教材「愛知の伝統料理」の開発  
[愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会] ..... 14
- ◆ 愛知県産の新鮮な魚を使った親子料理教室  
[高浜市こども育成グループ翼児童センター] ..... 14
- ◆ 「男子厨房に入ろう」修了者と「まんずまんずクッキング」との交流会  
[岩倉市、食生活改善推進員] ..... 15
- ◆ ぐっと健康！社食ランチツアー  
[尾張旭市、日立オムロンターミナルソリューションズ株式会社、  
パナソニックエコソリューションズ株式会社] ..... 15
- ◆ 野菜を食べようプロジェクト「野菜たっぷり!!ヘルシーメニュー」[知多市] ..... 16
- ◆ 男性健康づくり料理教室 [東浦町保健センター] ..... 16
- ◆ プレママ栄養コース[知立市] ..... 17

### (2) 生活習慣病や過度な痩身等の予防

- ◆ メタボリックシンドローム予防のための料理教室 [岡崎市] ..... 17
- ◆ 健康づくり提唱のつどい～野菜を食べよう2015～[公益社団法人愛知県栄養士会] 18
- ◆ 平成27年度 愛知県歯科医師会 食育推進研修会 [一般社団法人愛知県歯科医師会] · 18
- ◆ 蟹江町民まつり「生き生き元気コーナー」[蟹江町保健センター] ..... 19

### (3) 食の安全に関する信頼の構築

- ◆ 食品表示法説明会 [愛知県健康福祉部保健医療局健康対策課、生活衛生課、  
農林水産部食育推進課、名古屋市、豊橋市、岡崎市、豊田市] ... 19
- ◆ 正しい知識でノロウィルスをやっつけよう！ [愛知消費者協会 名古屋支部] ..... 20

- ◆ 岩倉市食育シンポジウム『い・わ・く・ら』で始める 食が育む豊かな心！ [岩倉市] 20

## 2 食を通じて豊かな心を育むために



### (1) 食を楽しむゆとりの確保

- ◆ 豊かな心を育む「バースデーランチ」[西尾市立三和小学校] …… 21
- ◆ 食育ボード、給食サンプル提示、給食レシピ紹介の設置 [刈谷市立双葉保育園] …… 21
- ◆ 節分の豆まき会で「おにランチ」[碧南市立築山保育園] …… 22
- ◆ 『連合愛知タウンミーティング 「働くことを軸とする安心社会」 Vol. 4  
[日本労働組合総連合会愛知県連合会] …… 23

### (2) 体験や交流を通じた食の理解促進

- ◆ 地域ボランティアさんに教わりながらの米作り体験 [尾張旭市] …… 23
  - ◆ 地域の企業との収穫体験 [刈谷市] …… 24
  - ◆ 地域食育応援隊（ボランティアゲストティーチャー）との協働による栽培・収穫活動  
[一宮市立丹陽南小学校] …… 24
  - ◆ だろんこアカデミー [半田市板山地区農業者有志] …… 25
  - ◆ 碧南水族館でのうなぎ食育教室 [株式会社昭和、碧南水族館、  
水産試験場内水面漁業研究所、西三河農林水産事務所農政課] 25
  - ◆ キッズ野菜ソムリエ講座 [田原市、日本野菜ソムリエ協会] …… 26
  - ◆ 健康科学教室「牛乳ってすごい！～牛乳でバター作り」「発見！やさいのパワー～  
やさいクイズ・やさいジュースづくり」[公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団]・26
  - ◆ 美浜の海で生きている魚のつかみ取り体験！イルカとウミガメに触って写真も撮ろう！  
[美浜町都市農村交流協議会] …… 27
  - ◆ マイ竿づくりとハゼ釣り体験 [西尾市] …… 27
  - ◆ 石釜組み立てとピザづくり  
[NPO法人だいきっず、コーミ株式会社、西三河農林水産事務所農政課] …… 28
- ### (3) 食文化や食事作法等の理解と継承
- ◆ 茶育教室～お茶による「こころの種まき」～ [愛知県] …… 28
  - ◆ 食育指導(身体の機能とうんちについて) [大口町立北保育園] …… 29

◆ 皆が食べられる学校給食の日 [尾張旭市立学校給食センター] .....	29
◆ アレルギー食・多様な食文化への理解促進のための紙芝居 [刈谷市教育委員会] .....	30
◆ 日本各地に伝わる食材を知り、郷土料理を味わおう [江南市立学校給食センター] .....	30
◆ 町民を対象とした給食試食会 [蟹江町給食センター] .....	31
◆ 小牧市生活改善実行グループ料理教室 [小牧市] .....	31
◆ はるちゃんレシピ・赤しそスイーツレシピ 夏休みおやこクッキング教室 [大治町保健推進員] .....	32

### 3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くために



(1) 食生活における「もったいない」意識の浸透と実践	
◆ 給食における食べ残しを減らす指導 [刈谷市教育委員会] .....	33
◆ 親子でエコ・クッキング [西尾市] .....	33
(2) 農林水産業への理解と地産地消の一層の促進	
◆ 親子工場見学会～うずら卵のルーツを探ろう～ [公益財団法人愛知県学校給食会] .....	34
◆ 小麦品種「きぬあかり」の普及推進 [愛知県] .....	34
◆ 親子で楽しくクッキング！ ～しょくまるファイブと一緒に学ぶバランスの良い食事～ [西尾市] .....	35
◆ 安城出身料理研究家 寺田真二郎さんによる地産地消推進イベント [安城市] .....	35
◆ 和食の食文化をいただきます [西尾市] .....	36
◆ へきなん美人レシピコンテスト [碧南市、碧南商工会議所、JAあいち中央碧南人参部会] .....	36
(3) 農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底	
◆ 資源管理の取組の推進 [愛知県] .....	37
◆ フードバンク活動応援募金 [生活協同組合コープあいち] .....	37

## 4 食育を支える取組



### (1) 食育にかかる人材の育成と活動の充実

- ◆ 「全国都市緑化あいちフェア」で、愛知県食育推進ボランティアが大活躍～

秋の実りを味わう「親子料理教室」、食について楽しく学ぶ「食育広場」～ [愛知県] … 38

- ◆ 食育活動に取り組む農林関係指導者の育成と活動促進 [愛知県漁業士協議会、愛知県] 39

- ◆ 食の活動拠点 とまと記念館

[東海市、東海市健康づくり食生活改善協議会、NPO Let's 食の絆] …… 39

- ◆ なんの花かな？クイズカード [公益財団法人愛知県学校給食会] …… 40

- ◆ 野菜料理プラス一品の取り組み [岩倉市、食生活改善推進員] …… 40

### (2) 関係者の役割分担とネットワークの充実

- ◆ いちじく畑の見学 [あいち尾東農業協同組合、尾張旭市] …… 41

- ◆ スーパーマーケットでの野菜を食べようキャンペーン [北名古屋保健センター] … 41

- ◆ 第35回蒲郡市農林水産まつり&食育フェスタ [蒲郡市農林水産まつり実行協議会] … 42

- ◆ 旬の野菜を使ったレシピを市の公式ウェブサイトへ掲載 [安城市] …… 42

### (3) いいともあいち運動の推進

- ◆ いいともあいち運動シンボルマークの貼付促進 [愛知県] …… 43

- ◆ あいちの農林水産物 PR強化月間～あいちをあいちでいただくぜ～ [愛知県] …… 43

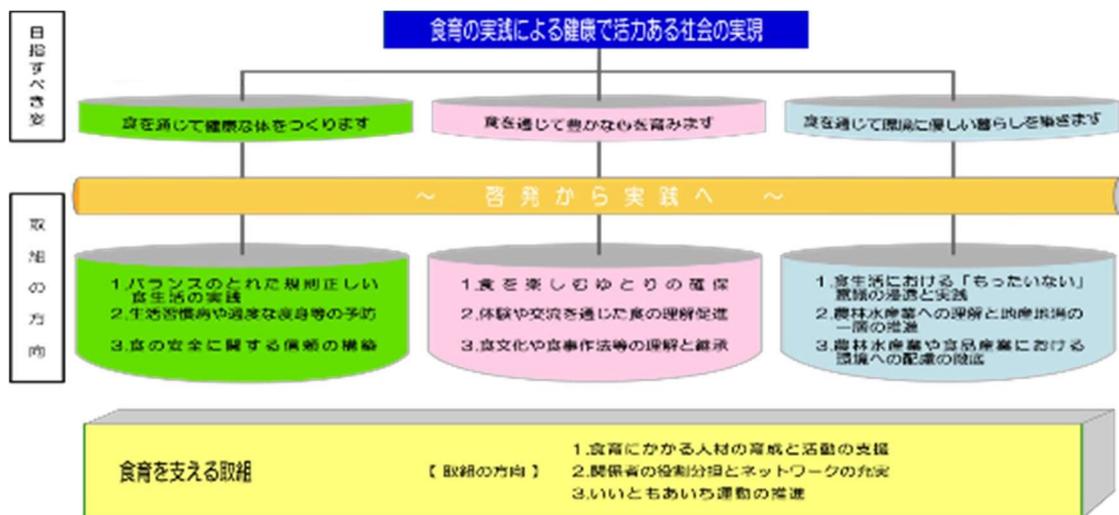
# I 「あいち食育いきいきプラン2015」の

## 最終年度を迎えて

「あいち食育いきいきプラン2015」（第2次愛知県食育推進計画）は、食育基本法に基づき、愛知県食育推進会議が第1次食育推進計画である「あいち食育いきいきプラン」の基本理念や成果を継承しつつ、更に食育を推進するための次のステップとして平成23年5月に作成したものです。

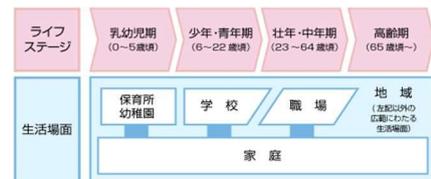
### 1 目指すべき姿と基本コンセプト

- このプランでは、前プランからの本県の特色である「体」、「心」、「環境」に着目した食育を継承することにより、健康で活力ある社会の実現を目指しています。
- 規則正しい食生活の実践などにより「健康な体をつくる」ことはもとより、感謝の気持ちや食を大切に作る心といった「豊かな心を育む」こと、食べ残しや食品の廃棄量を減らすなどの「環境に優しい暮らしを築く」ことを基本としています。
- 前プランの様々な取組により高まった県民の関心をさらに高めるとともに、次のステップとして、「啓発から実践へ」を基本コンセプトとし、県民一人ひとりの食育の実践を関係者が支援して、県民が主体的に実践する取組へとつなげていきます。

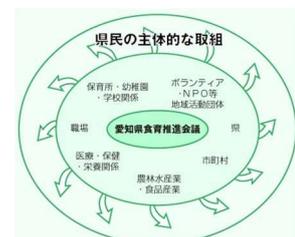


### 2 取組の特徴

- あらゆる世代の県民が生涯にわたって健全な食生活を送るためには、生涯を通じた中断のない食育が重要です。このため、乳幼児から高齢者に至るまで、ライフステージと生活場面に応じた切れ目ない食育を進めています。



- また、食育に関する取組の実効性を高めるため、様々な関係者が、その役割と特性を生かしつつ、密接に連携・協力して、県民運動として食育を展開しています。



### 3 県や関係団体等の取組

食育の推進について、県や関係団体等は、あいちの食育が目指す3つの方向に則して、ライフステージと生活場面に応じ、それぞれの役割と特性を生かしつつ連携・協力して、継続的に情報提供や実践促進活動を行っています。

以下では、取組を働きかける生活場面を下記のとおり表示

#### ■ 取組の体系

			保幼	学校	職場	地域
食を通して健康な体をつくるために	バランスのとれた規則正しい食生活の実践	ア 乳幼児期における基本的な食習慣の確立	●			●
		イ 学校における小中学生への食に関する指導の充実		●		
		ウ 小中学生の食育のための家庭への支援		●		●
		エ 高校における食育の充実		●		
		オ 青年期以降における健全な食生活の実践の支援		●	●	●
		カ 「妊産婦のための食生活指針」の推進				●
	キ 高齢期における食による健康維持の推進				●	
	生活習慣病や過度な痩身等の予防	ア 子どもの肥満予防等の推進	●	●		
		イ 歯の大切さについて子どもへの啓発活動の推進	●	●		
ウ 思春期からの過度な痩身の予防対策			●			
エ 職場での健康診断等に基づく食生活改善の推進				●		
オ 地域における健康づくりの推進					●	
食の安全に関する信頼の構築	ア 食品表示の適正化の推進				●	
	イ 食の安全に関する情報提供や意見交換		●		●	
	ウ 安全に関する自主管理と情報開示の促進				●	
	エ 食品と医薬品との相互作用に対する普及啓発				●	
					●	
食を通して豊かな心を育むために	食を楽しむゆとりの確保	ア 給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成	●	●		
		イ “おうちでごはんの日”の実践促進			●	●
		ウ 高齢者の孤食対策等				●
	体験や交流を通じた食の理解促進	ア 乳幼児期における食とのふれあい機会の確保	●			●
		イ 少年期における食に関する体験等の充実		●		●
		ウ 幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供				●
	食文化や食事作法等の理解と継承	ア 子どもに対する食事作法の習得や食の多様性の理解	●	●		●
		イ 給食における地場産物や郷土料理等の導入促進	●	●		
		ウ 伝統料理、郷土料理等の提供促進と継承		●	●	●
エ 高齢者による食事作法や食文化の地域内継承				●		
食を通して暮らしを環境に優しい暮らしを築くために	食生活における「もったいない」意識の浸透と実践	ア 子どもに対する環境負荷軽減の学習	●	●		●
		イ 環境に配慮した食生活の実践				●
		ウ 外食時における食べ残し減量策の促進				●
	農林水産業への理解と地産地消の一層の推進	ア 生物多様性の保全など農林水産業の役割への理解促進		●		●
		イ 子どもに対する地産地消の理解と利用の促進		●		
		ウ 青年期以降における地産地消の実践		●	●	●
		エ 生産者と消費者の思いを伝える農林水産業の実現				●
	農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底	ア 農林水産業における環境への配慮とバイオマスの利活用				●
		イ 食品関連事業者における食品廃棄物の削減				●
ウ フードバンク活動の普及啓発					●	
食育を支える取組	食育にかかる人材の育成と活動の充実	ア 保育・教育機関における推進体制の充実	●	●		
		イ 社会人を対象とした推進体制の充実			●	●
		ウ 愛知県食育推進ボランティアの育成と活動の充実				●
		エ 食育に係る多様な人材の育成と活動の促進				●
		オ 食育推進資材の作成や調査・検定の実施				●
	関係者の役割分担とネットワークの充実	ア 地域食育推進支援会議の開催				●
		イ 地域の活動主体同士の連携企画の促進		●		●
		ウ 既存のネットワークを活用した関係者間の情報共有				●
	エ 食育に関する情報発信の充実				●	
いいともあいち運動の推進	ア 運動の認知度の向上				●	
	イ 協働活動の充実				●	
	ウ 県産農林水産物の利用拡大				●	

## 4 これまでの取組の評価と今後の展開

### 1-1 食に関わる「体」の視点



#### (1) 現状と課題

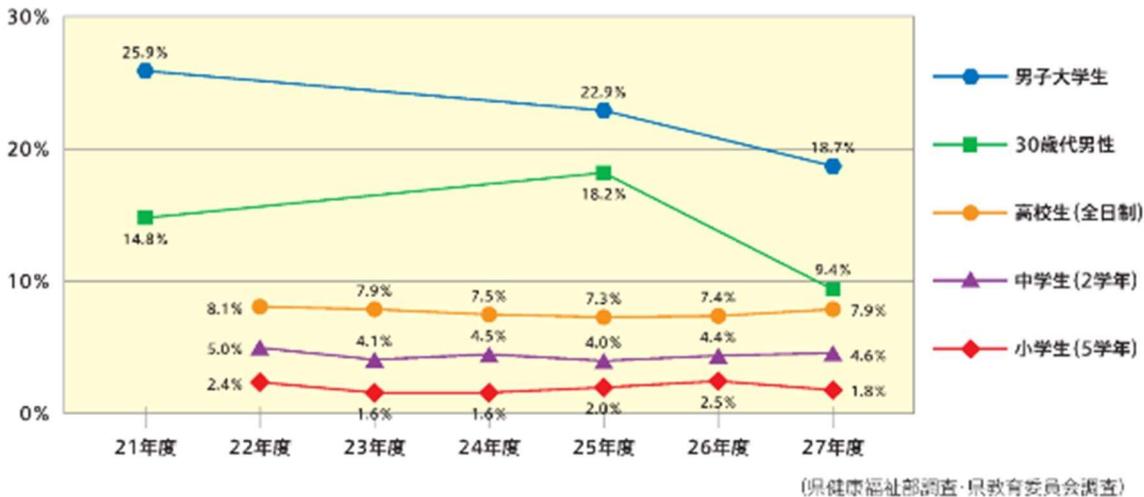
##### ○ 食生活や栄養バランスの乱れ

朝食の欠食割合については改善がみられていますが、男子大学生では2割程度が欠食であり、朝食の欠食割合が高い傾向が見られます。

栄養バランスに優れた米を中心とし多様な副菜からなる日本型食生活が崩れてきており、主食・主菜・副菜を1日2回以上そろえて食べる頻度は20歳代で最も低く、若い世代の食生活が乱れています。また、外食や調理済み食品等を購入し家庭で食べる中食が増加するなど食の多様化が進行しています。

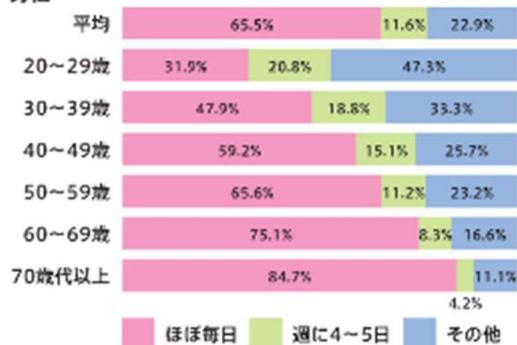
野菜は各種ビタミンやミネラルを含み、健康づくりに大切な食品ですが、本県は成人1人あたりの野菜摂取量（平成26年調査値）は265gと全国的にみても低い水準となっています。また、朝食に野菜を食べている小中学生の割合は改善が見られていますが、今後も朝食に野菜をとることの重要性を一層啓発していく必要があります。

■ 朝食の欠食割合

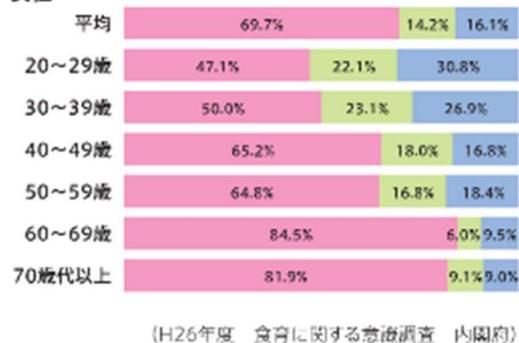


■ 主食・主菜・副菜をそろえて食べる頻度

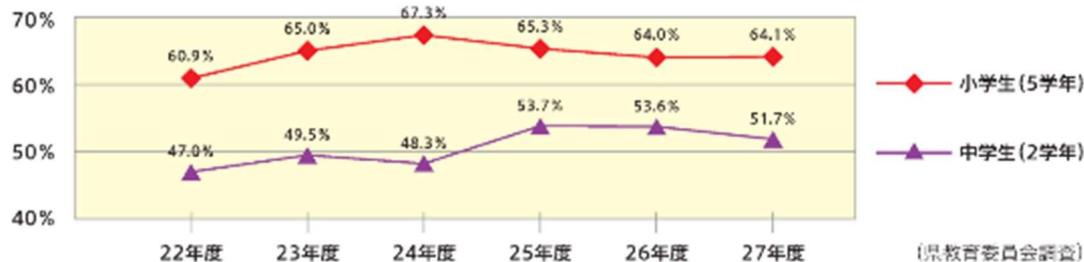
男性



女性



### ■ 朝食に野菜を食べている小中学生の割合



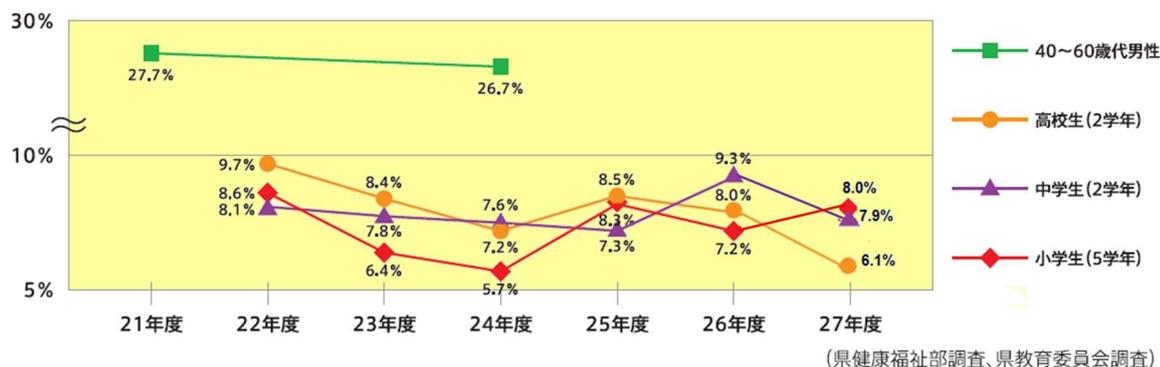
### ○ 肥満や瘦身の割合

小学生から高校生までの肥満の割合については、改善傾向がみられています。

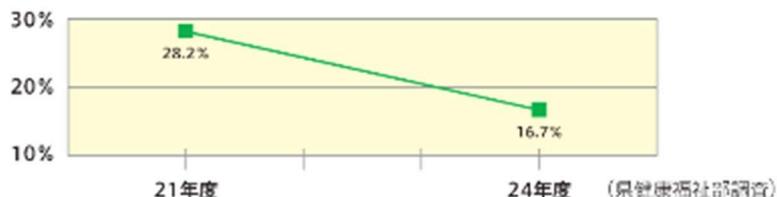
40～60歳男性の肥満の割合については、基準年に比べて改善していますが、約4人に1人が肥満であり、生活習慣病の発症が懸念されます。

やせている20歳代女性の割合については、改善傾向が見られています。若い女性のやせは、低出生体重児を出産する割合が高くなったり、将来、自身が骨粗しょう症になりやすくなるなどの危険があります。しかし、生活習慣ややせ願望などはすぐには改善できませんので、小児期など早い時期からの働きかけが必要です。

### ■ 肥満の割合



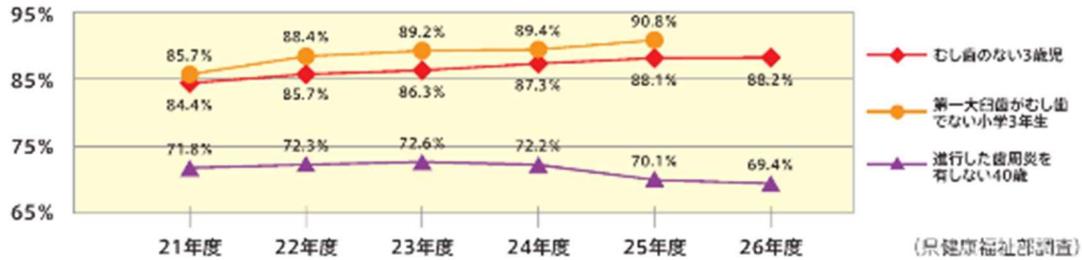
### ■ やせている20歳代女性の割合



### ○ 健康な歯を持つ人の割合

むし歯のない3歳児及び小学3年生は、市町村における乳幼児歯科保健事業の充実や永久歯むし歯予防の啓発が進んだことにより改善しています。しかし、進行した歯周炎を有しない40歳の割合については、改善がみられていませんので、若い世代からの歯肉炎予防、定期的な歯科の受診を促す等継続した取組が必要です。

## ■ 健康な歯を持つ人の割合



## ○ 食の安全に対する不安

食品表示の適正化の推進や食の安全・安心に関する知識と理解が深められるよう情報の提供を行っており、食の安全に対する不安を感じたことのある県民は減少傾向ですが、食の安全に対する不安感は依然として高い状態です。また、食物アレルギーを有する児童が、学校給食後にアナフィラキシーショックの疑いにより亡くなるという事故の発生があったことから、文部科学省では、学校給食における食物アレルギー対応の基本的な考え方等について通知を行い、その後、安全性を最優先とする大原則の下に「学校給食における食物アレルギー対応指針」を示しました。

## (2) 今後の展開

### ○ 栄養バランスのとれた規則正しい食生活の実践

子どもの頃から栄養バランスのとれた規則正しい食習慣を身に付け、自立した生活を送るまでに、食の知識や調理技術を身につける取組を進めます。

大学や就業している事業所等への啓発を進めるなど大学生以降の若い世代を中心とした食生活の改善に向けた取組を進めます。

### ○ 食の多様化を踏まえた取組の実施

外食や中食を利用する際に栄養バランスのとれた食生活ができるよう、栄養バランスのとれた食事やお弁当・そう菜等の提供を促すとともに、栄養バランスのとれた食事を選択することができるように、飲食店や弁当・そう菜等での栄養成分等の表示を推進します。

### ○ 野菜摂取量を増やす取組の推進

野菜は各種ビタミンやミネラルを含み、健康づくりに大切な食品であるため、野菜摂取量を増やす取組を進めます。

### ○ 食の安全に関する信頼の構築

食品表示を始めとした食の安全に関する正しい知識を普及するとともに、近年増加する食物アレルギーに対応するため、食物アレルギーに対する正しい理解促進を行い、学校給食における食物アレルギーの危機管理体制を構築します。

## 1-2 食に関わる「心」の視点



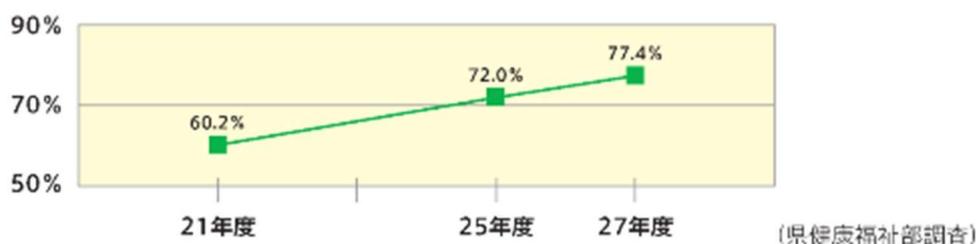
### (1) 現状と課題

#### ○ 食を楽しむゆとりの確保

女性の社会参加等が進み共働き世帯が増加してきたこと、核家族化が進んだことなどにより、家族形態が多様化しています。その結果、家族団らんの機会を確保することが難しくなっていることから、毎月19日を「おうちでごはんの日」とし、街頭活動などで啓発を行ってきたところ、家族や友人と一緒に楽しく食事をする人の割合については改善しています。

#### ■ 家族や友人と一緒に食事をする人の割合

(1日最低1食、家族や友人と一緒に楽しく30分以上かけ食事をする人の割合)



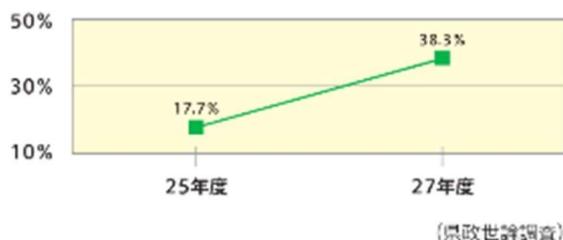
産業構造の変化や食の外部化等が進む中で、多くの人にとっては食料の生産や加工等の現場に直接ふれる機会が少なくなっているため、県や多くの団体が、体験や見学等の取組を進めてきました。農林漁業体験学習に取り組む小学校の割合や、市民農園を利用して野菜を栽培するなどの農林水産業に親しむ活動に参加する県民の割合は順調に増加しています。

#### ■ 農林漁業体験学習に取り組む小学校の割合

(名古屋市を除く)



#### ■ 農林水産業に親しむ活動に参加する県民の割合

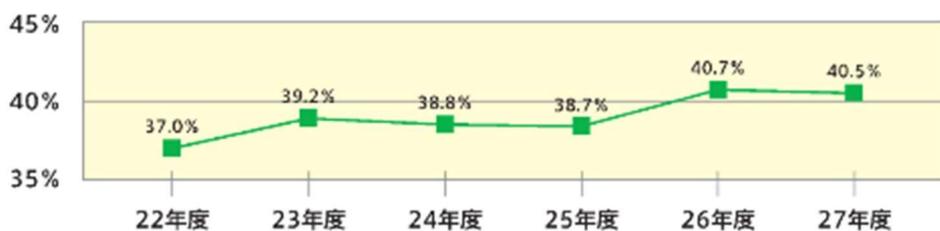


#### ○ 食文化や食事作法等の理解と継承

米を中心とした日本の伝統的な食生活が失われつつあり、国連教育科学文化機関(ユネスコ)は平成25年12月に和食を日本人の伝統的な食文化としてユネスコ無形文化遺産に登録しました。今後はこれを契機に栄養バランスに優れ健康的な食事スタイルである日本の食文化を見つめ直すとともに、次世代に向け保護・継承されることが期待されています。

また、地場産物やその生産などについての関心や理解を深めるために、学校給食において、地場産物や郷土料理等の導入を促進しており、平成27年度の地域の産物を活用する割合は40.5%に達しています。

## ■ 学校給食において地域の産物を活用する割合 (全食品数に占める県産食品数の割合)



(県教育委員会調査)

## (2) 今後の展開

### ○ 食を楽しむゆとりの確保

家族や友人等と食卓を囲んでの楽しい食事は、幼少期には食事作法や食に関する感謝の心の体得、長じては食に関する学習や実践、食文化の継承にも役立つことから、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の普及促進を図るとともに、引き続き毎月19日の「おうちでごはんの日」の啓発を進めます。

### ○ 体験や交流を通じた食の理解促進のための環境整備

食生活が自然の恩恵のもとに成り立っていることを理解するとともに、食物やそれを生産・供給する人々に対する感謝の心を持つことが大切であることから、体験や交流の機会の充実を図るなどの取組を進めます。

### ○ 地域の食文化の継承

日本の伝統的な食文化である和食がユネスコ無形文化遺産として登録されました。これを契機に栄養バランスに優れ健康的な食事スタイルである日本の食文化を見つめ直すとともに、郷土料理等の地域の食文化を次世代に向け保護・継承していくための取組を進めます。

## 1-3 食に関わる「環境」の視点

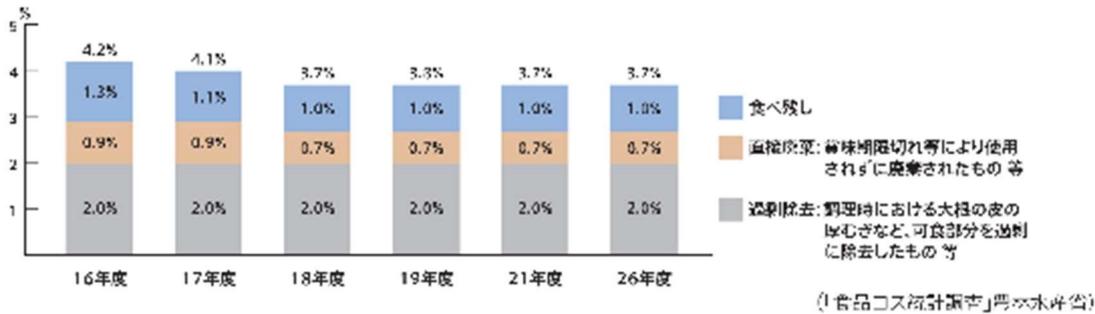


### (1) 現状と課題

#### ○ むだや廃棄の少ない食事づくり

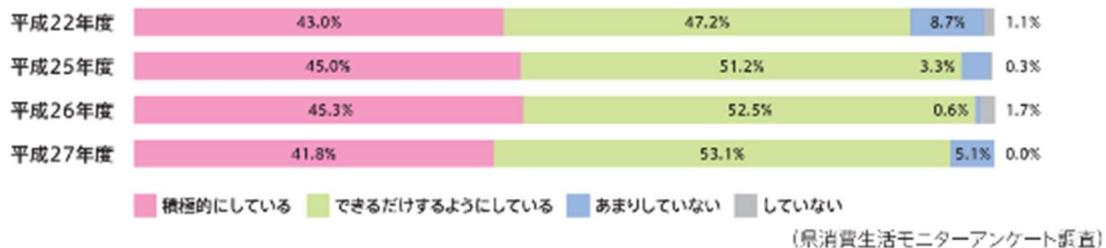
食べ残しや消費期限・賞味期限切れなどに伴う食品の廃棄（食品ロス）が、年間約642万トン発生し、うち312万トンが一般家庭から発生していると推計されています。世帯食における食品ロス率は低下傾向にありますが、平成18年度以降はほぼ横ばいであり、依然として一定の割合で食品ロスが発生しています。

### ■ 世帯食における食品ロス率の推移



「むだな買物をしない」、「食材を最後まで使い切る」などの家庭でできる食品ロス削減術の啓発等を行ってきましたが、むだや廃棄の少ない食事づくりを積極的に行っている人の割合は改善がみられていません。一方、5割以上の県民が「できるだけするようにしている」と回答しており、関心の高さがうかがえます。

### ■ むだや廃棄の少ない食事づくりを積極的に行っている人の割合

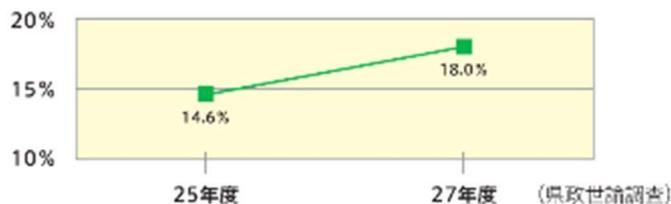


## ○ 地産地消の取組の推進

「いいともあいち運動」の推進によるシンボルマークの貼付商品の拡大、生産者と消費者の交流会、県産品を使った料理教室、農林水産フェアの開催等により、県産農林水産物のPRを推進してきた結果、県産農水産物を優先して購入したいと思う県民の割合は増加しています。

### ■ 県産農水産物を優先して購入したいと思う県民の割合

(米、野菜、果物、肉、卵、魚の購入意向の平均)



## ○ 農林水産業や食品関連事業者における環境への配慮

農林水産業においては、化学肥料・化学合成農薬の低減や資源循環の推進、食品産業においては、食品リサイクルの推進などに取り組んでおり、環境や安全等に配慮して農業生産工程を管理するGAP手法の導入組織・法人数は、行政や農業団体による積極的な導入支援により93件(平成22年度)から140件(平成26年度)に増加しています。食品産業においても、食品廃棄物の減量や再生利用等の実施率は年々向上しています。

## (2) 今後の展開

### ○ 食を通じた環境への配慮の啓発

毎日の食生活における環境への影響に関する理解を深め、環境に配慮した食生活の実践に取り組む人づくりを進めるため、子どもに対する環境学習を推進するとともに、環境に配慮した食料品等の購入等を啓発します。

### ○ 地産地消の推進と農林水産業の役割への理解促進

地域で生産された農林水産物を地域で消費することは、輸送において使用される石油資源やエネルギーを軽減することにつながります。また、農林水産業は生物多様性の保全や、水源のかん養など環境を保全する機能を有しています。そのため、生産者と消費者の相互理解にもつながる地産地消を進めるとともに、農林水産業の役割への理解を促進する取組を進めます。

### ○ 農林水産業や食品関連事業者における環境への配慮の徹底

農林水産業や食品関連事業者においては、今後も環境への配慮を徹底することにより、食べ物の生産・提供から生じる環境への負荷を軽減します。

## 2 食育を支える取組の評価



### (1) 現状と課題

#### ○ 食育推進ボランティアなどの活動

行政や団体等による積極的な食に関する普及啓発を行った結果、食育に関心のある県民の割合は平成26年度で98%に達しています。また、食育推進ボランティアから食育を学んだ人数についても、平成27年度に10.5万人に達するなど順調に増加しています。

#### ■ 食育推進ボランティアから食育を学んだ人数



#### ○ 企業における食育への取組の進展

企業の社会貢献意識の高まりがみられるようになり、平成19年10月には、食育に積極的に取り組もうとする愛知県発祥の企業8社が自発的に集まり、「あいち食育サポート企業団」が結成（現在は14社）され、店舗等での食育イベントの実施を積極的に行っています。

平成20年頃から、コンビニエンスストアと都道府県との連携の動きが盛んとなりました。愛知県では、平成28年2月末現在、県内に店舗のあるコンビニエンスストア5社及びスーパーマーケット3社と「連携と協力に関する包括協定」を結んでいます。各社の協定項目には、食育や地産地消などの推進が含まれています。

県では平成20年度に、「外食栄養成分表示店」制度を拡充し、栄養成分表示の他、食育に関する情報提供を行う飲食店等を「食育推進協力店」として登録する制度を開始しました。平成26年度末には、2,730店が登録されています。

## ○ 市町村における食育推進計画の作成

平成26年度末までに全市町村で食育推進計画が作成され、各地域で食育を推進するための環境づくりが進んでいます。

## ○ いいともあいち運動の推進

県内の消費者と生産者が相互理解や交流を深めたり、地産地消を進めることで、県民みんなで県の農林水産業を支えていく取組である「いいともあいち運動」については、シンボルマークの貼付促進やキャンペーンの開催、県との包括協定等に基づくコンビニエンスストアでの新商品開発・販売、農林水産フェアの開催などのPR活動を行ってきましたが、認知度は上昇していません。

■ 「いいともあいち運動」を知っている人の割合



## (2) 今後の展開

### ○ 食育を推進するための環境づくり

県内全ての市町村で食育推進計画が作成され、食育推進の環境づくりが進みました。今後は地域の実情に応じた食育を推進するために、県、市町村、団体、事業者等がそれぞれの役割を果たしながら、一層の連携・協力を努めます。

### ○ 人材の育成と活動の充実

食育推進ボランティア及び食生活改善推進員の育成や活動の充実を図るとともに、県民からの要望に対するコーディネート充実を図ります。また、学校における食育の中核的な役割を担う栄養教諭の配置拡大を進めるとともに、市町村における栄養行政の推進を担う管理栄養士・栄養士についても、その配置が促進されるよう働きかけを行います。

### ○ いいともあいち運動の推進

県内の消費者と生産者の相互理解や地産地消を推進していく本県独自の取組である「いいともあいち運動」について、より一層の推進を図ります。

## 4 食育推進計画における食育の目標と達成状況

### 1-1 食を通じて健康な体をつくるための目標

項	目	基準年	現状値	状況	目標(H27)
○朝食の欠食割合	小学生（5学年）	2.4%(H22)	1.8%(H27)	○	0%
	中学生（2学年）	5.0%(H22)	4.6%(H27)	○	3%以下
	高校生（全日制2学年）	8.1%(H22)	7.9%(H27)	○	5%以下
	男子大学生	25.9%(H21)	18.7%(H27)	○	15%以下
	30歳代男性	14.8%(H21)	9.4%(H27)	◎	10%以下
○朝食に野菜を食べている小中学生の割合	小学生（5学年）	60.9%(H22)	64.1%(H27)	○	80%以上
	中学生（2学年）	47.0%(H22)	51.7%(H27)	○	80%以上
○肥満・やせの割合	肥満：小学生（5学年）	8.6%(H22)	8.0%(H27)	○	6%以下
	肥満：中学生（2学年）	8.1%(H22)	7.9%(H27)	○	7%以下
	肥満：高校生（2学年）	9.7%(H22)	6.1%(H27)	◎	8%以下
	肥満：40～60歳代男性	27.7%(H21)	26.7%(H24)	○	15%以下
	やせ：20歳代女性	28.2%(H21)	16.7%(H24)	○	14%以下
○自分の適正体重を認識し、体重コントロールを実践している人の割合	男性	43.7%(H21)	35.7%(H27)	△	60%以上
	女性	53.2%(H21)	43.8%(H27)	△	70%以上
○健康な歯を持つ人の割合	むし歯のない3歳児	84.4%(H21)	88.2%(H26)	○	90%以上
	第一大臼歯がむし歯でない小学3年生	85.7%(H21)	90.8%(H25)	◎	90%以上
	進行した歯周炎を有しない40歳	71.8%(H21)	69.4%(H26)	△	90%以上

### 1-2 食を通じて豊かな心を育むための目標

項	目	基準年	現状値	状況	目標(H27)
○家族や友人と一緒に楽しく食事をする人の割合（1日最低1食、家族や友人と一緒に楽しく30分以上かけて食事をする人の割合）		60.2%(H21)	77.4%(H27)	○	80%以上
○農林水産業に親しむ県民の割合	農林漁業体験学習に取り組む小学校の割合（名古屋を除く）	62.8%(H22)	68.8%(H27)	○	80%以上
	農林水産業に親しむ活動に参加する県民の割合	17.7%(H25)	38.3%(H27)	◎	19.8%以上
○学校給食において地域の産物を活用する割合（全食品数に占める県産食品数の割合）		37.0%(H22)	40.5%(H27)	○	45%以上

### 1-3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くための目標

項	目	基準年	現状値	状況	目標(H27)
○むだや廃棄の少ない食事づくりを積極的に行っている人の割合		43.0%(H22)	41.8%(H27)	△	50%以上
○県産農水産物を優先して購入したいと思う県民の割合（米、野菜、果物、肉、卵、魚の購入意向の平均）		14.6%(H25)	18.0%(H27)	◎	17.4%以上
○環境や安全等に配慮して農業生産工程を管理するGAP手法の導入組織・法人数		93件(H22)	142件(H27)	◎	120件以上

## 2 食育を支えるための目標

項	目	基準年	現状値	状況	目標(H27)
○食育推進ボランティアから食育を学んだ人数		5.7万人(H22)	10.5万人(H27)	◎	10万人
○食育推進計画を作成・実施している市町村の割合		86.0%(H22)	100%(H27)	◎	100%
○「いいともあいち運動」を知っている人の割合		21.7%(H25)	19.6%(H27)	△	24.4%以上

(状況 … ◎：達成、○：改善、△：改善見られず) H28.5.30現在の状況 ◎：8、○14、△：5

## Ⅱ 平成 27 年度の主な取組の状況

### 1 食を通じて健康な体をつくるために



幼児期から高齢期にいたるまでライフステージに応じた「バランスのとれた規則正しい食生活の実践」、子どもの肥満予防や思春期からの過度な痩身の予防、職場等での健康指導など「生活習慣病や過度な痩身等の予防」、及び「食の安全に関する信頼の構築」に取り組みました。

#### (1) バランスのとれた規則正しい食生活の実践



栄養バランスのとれた規則正しい食習慣を身につけることは、健康な体を作るための基本であり、各ライフステージでバランスのとれた規則正しい食生活の実践に取り組みました。

### ここにご栄養相談

豊橋市

●実施時期：年 4 回

●対象者：未就園児の保護者等

#### ●内容

豊橋市からの呼びかけで、豊橋市内の子育て支援施設の常設型子育てひろばに参加する保護者から、乳幼児の栄養相談を受けています（管理栄養士）。

子どもを遊ばせながら、栄養士から指導が出来るため、保健センター等にわざわざ電話するほどのこともないけれど、なんとなくモヤモヤしているママたちに専門家の立場でアドバイスができ、好評です。

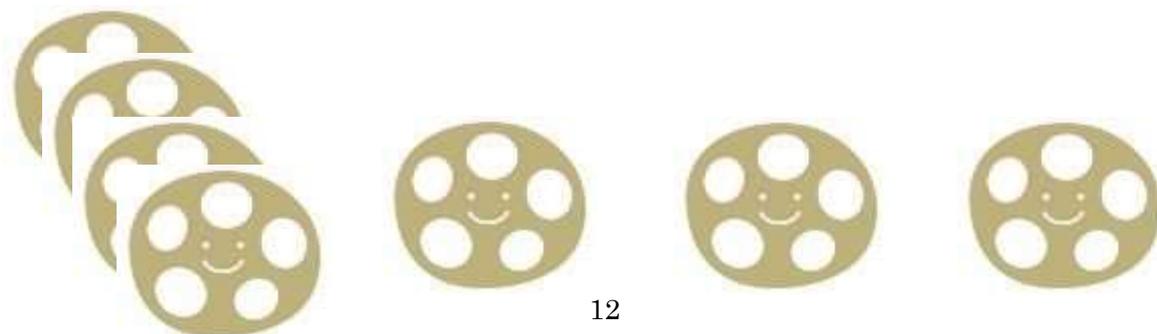
#### ●活動の成果、今後の課題

相談者からの質問に答えるだけでなく、常設型子育てひろばに来ているママたちにも積極的に話しかけ、悩み事や気になっていることを聞いています。アドバイスを実践して、次の開催日にわざわざ報告に来る方もいて、市民のお役立ちに一役かっています。



〈取組項目：乳幼児期における基本的な食習慣の確立〉

〈取組場面：地域〉



## 朝食にプラスワン（乳幼児健診、集団教育）

稲沢市保健センター

●実施時期：4か月児健康診査及び1歳6か月児健康診査時

●対象者：4か月児健康診査及び1歳6か月児健康診査対象児の保護者

### ●内容

平成26年度実施のアンケートで、朝食の喫食率が90%程、食事内容が主食・副菜・主菜が不十分な食事の方の割合が85%以上という結果から、乳幼児をもつ保護者に、朝食の大切さと簡単にバランスよく食べる具体的な方法を啓発するため、健診の受付の前に、パネルに料理カードを貼り、包丁や鍋やコンロを使わずにすむ簡単な、今の食事にプラスワンできるアイデアを「幼児期の食事のポイント」の資料を配布しながら、紹介しています。



### ●活動の成果、今後の課題

健診受付前のにぎやかな待ち時間に実施していますが、話が始めると注目して聞いていただいています。プリントを配布して事後相談時に個別対応できることもあります。

今後、健診アンケートを集計し、教育の効果を3年計画で評価していきたいです。

〈取組項目：乳幼児期における基本的な食習慣の確立〉

〈取組場面：地域〉

## 保護者及び乳幼児の朝食での野菜摂取について問診

大府市

●実施時期：平成27年6月～●対象者：4か月の保護者、1歳6か月、3歳児健診対象者

### ●内容

乳幼児健診時の問診項目に市独自項目として朝食での野菜摂取について追加しました。

平成27年度は問診の集計及び分析をしました。

平成28年度より3歳児健診時に保護者へ朝食での野菜摂取について、集団教育を行う予定です。

### ●活動の成果、今後の課題

保護者や乳幼児の朝食での野菜摂取状況が把握できました。

4か月児保護者 朝食でほぼ毎日野菜を食べる

父：16.2% 母：21.8%

朝食でほとんど野菜を食べない

父：56.3% 母：45.0%

児 朝食でほぼ毎日野菜を食べる

1歳6か月児：31.8% 3歳：17.0%

朝食でほとんど野菜を食べない

1歳6か月児：32.0% 3歳：47.1%

保護者も乳幼児も朝食で野菜を食べていないので、改善に向けた啓発が必要です。



〈取組項目：乳幼児期における基本的な食習慣の確立〉

〈取組場面：地域〉

## 学校で使用する食育教材「愛知の伝統料理」の開発

愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会

●実施時期：平成27年度

●対象者：愛知県内栄養教諭・学校栄養職員研究協議会会員

### ●内容

本協議会の研究テーマのひとつに、「食文化を伝承しよう」があります。そこで、本年度は「愛知の郷土料理」の教材を作成しました。地域の歴史や料理の由来、材料や作り方を掲載し、古くから伝わる味や食材など、自分たちが暮らす地域に目を向けることにつながればと考えました。

児童生徒の学習教材としてだけではなく、食育講演会や家庭・地域への通信（たより）への活用も図りました。



### ●活動の成果、今後の課題

授業では、初めて見たり聞いたりする料理もあったようですが、季節や地域の行事と関係の深い料理や赤みそ（豆みそ）の文化など、愛知県の豊かな食文化を知る学習となりました。

給食試食会では、愛知の食文化を家庭の食卓で伝承する大切さ啓発しました。今後は、家庭や地域との連携を深める教材についても研究したいと考えています。



〈取組項目：学校における小中学生への食に関する指導の充実〉

〈取組場面：学校〉

## 愛知県産の新鮮な魚を使った親子料理教室

高浜市こども育成グループ翼児童センター

●実施時期：平成27年8月29日

●対象者：翼児童センター利用の親子

### ●内容

高浜市では、こども食育推進協議会を中心に食育を推進しており、児童センターでも積極的にクッキング教室を行っています。

今回、子どもたちにあまり親しみのない魚を楽しく料理しておいしく食べてもらおうと、漁業士の協力を得て、教室を企画しました。

タコを丸ごと1匹ぬめり取りしてタコ飯にしたり、アナゴを背開きして煮付けや天ぷらにしたり、イワシの手開きやヤリイカ、ガザミの処理など親子でさまざまな体験ができました。



### ●活動の成果、今後の課題

通常の教室は、子どもだけの参加で、親は話を聞くだけでした。

今回親子で同じ体験をしたことで、教室中だけでなく家庭でも親子共通の話題となりました。また、普段見えない両親の頑張る姿は、子どもの心に素敵な思い出として記憶されたと思います。

今回のように専門家の協力を得られれば継続できると思います。



〈取組項目：小中学生の食育のための家庭への支援〉

〈取組場面：地域〉

## 「男子厨房に入ろう」修了者と「まんずまんずクッキング」との交流会

岩倉市、食生活改善推進員

●実施時期：平成27年6月18日 ●対象者：市民（男性）

### ●内容

岩倉市で開催する「男性の栄養教室（男子厨房に入ろう5回シリーズ）」修了者の受け皿として、「男子厨房に入ろう」修了者と男性だけの料理教室グループ「まんずまんずクッキング」との交流会を行いました。

男性が料理を作る楽しさ・面白さを味わいながら、それを他の男性にも伝え、食に興味のある男性同士、交流を深めている男性だけの料理教室グループ「まんずまんずクッキング」で学んだ調理の指導を行い、調理に興味を持った男性グループの方との交流を通して仲間づくりを行いました。



### ●活動の成果、今後の課題

会員と同年代の男性が集まっていることから、参加者も緊張することなく、気軽に参加してもらうことができ、「まんずまんずクッキング」の会員になってもらうことができました。

保健センター事業（講演会など）にも自主的に参加し、食や健康に興味をつなげることができました。

（取組項目：青年期以降における健全な食生活の実践の支援）

（取組場面：地域）

## ぐっと健康！社食ランチツアー

尾張旭市

日立オムロンターミナルソリューションズ株式会社  
パナソニックエコソリューションズ株式会社

●実施時期：平成27年10月、12月

●対象者：市内在住、在勤、在学の方

### ●内容

社員の健康に配慮したランチを提供している企業の見学、ランチ試食や社員に対する健康の取組紹介を通して、参加者の健康づくりの参考としてもらうことを目的として、「ぐっと健康！社食ランチツアー」を実施しました。



### ●活動の成果、今後の課題

市内企業の社員への食を通じた健康づくりの取組を通して、参加者の食生活を見直すきっかけを作ることができました。参加者からは、「保健師さんの説明も丁寧でわかりやすかった」「メニューレシピも置いてあり、自由に持ち帰ることができたので、自宅で作りたい」といった意見がありました。



（取組項目：青年期以降における健全な食生活の実践の支援）

（取組場面：地域）

## 野菜を食べようプロジェクト「野菜たっぷり!!ヘルシーメニュー」

知多市

●実施時期：通年 ●対象者：市民

### ●内容

知多市は、県や全国と比較して血糖が高い方の割合が多いことが分かっています。

そこで、平成27年度より市内飲食店において「野菜たっぷりヘルシーメニュー」の提供をはじめています。これは、1食あたりの野菜使用量、エネルギー、塩分量が認定基準を満たすもので、外食においても健康を意識したメニューの選択が可能となります。

平成27年度は市内8店舗のメニューが認定され、詳細は市ホームページにて掲載されています。



### ●活動の成果、今後の課題

市民の方々のみならず、飲食店の方に対しても健康に関する意識向上につながったと思われます。しかし、ヘルシーメニューの認知度はまだ低く、また実際に食べた方へのアンケートは実施していませんので、今後はそのような事柄についても検討していきたいと思えます。



〈取組項目：青年期以降における健全な食生活の実践の支援〉

〈取組場面：地域〉

## 男性健康づくり料理教室

東浦町保健センター

●実施時期：平成28年1月～3月 ●対象者：町内在住の男性

### ●内容

高齢化社会が進み、核家族が増加する中、独居老人や高齢者夫婦のみの世帯も増加しています。

そのため、教室の中では調理の基本と食について少しでも関心をもってもらえるように「食べ物の旬について」や「自分の食事の適正量」などについても講義を行い、自分や家族のために実際に料理を作って食べることができるよう進めていきました。

### ●活動の成果、今後の課題

教室後に家で復習して作っている方も多く、家族に喜んでもらった、等の感想が聞かれました。参加率も高く、ほとんどの方が皆勤で教室を終えることができました。

ただ、教室が隔週の全6回で慣れてきた頃に終了してしまうため、教室終了者で作っている男性料理同好会に参加を促し、引き続き料理に関心を持ってもらえるような体制づくりをしています。



〈取組項目：青年期以降における健全な食生活の実践の支援〉

〈取組場面：地域〉

## プレママ栄養コース

知立市

●実施時期：通年 ●対象者：市民

### ●内容

妊娠期の食に関する正しい知識を身に付け不安の軽減を図り、また仲間づくりの機会とし、心身ともにより健康的な生活が送れるよう支援するため、また、本人だけでなくその子どもや家族が正しい食習慣を身に付けられるよう支援するため、パパママクラスのスマイルパパコース、楽しい子育てコースに今年度からプレママ栄養コースを新たに追加しました。

プレママ栄養コースは、ママの食事についての話、妊娠中・産後にお勧めのおやつ作り体験、交流会を行いました。



### ●活動の成果、今後の課題

日時：6月12日 参加人数：8名

日時：9月10日 参加人数：7名

日時：1月19日 参加人数：14名



〈取組項目：「妊産婦のための食生活指針」の推進〉

〈取組場面：地域〉

## (2) 生活習慣病や過度な痩身等の予防



生活習慣病を予防するため、若年期からのメタボリックシンドロームや思春期からの過度な痩身について、食生活の改善や歯の大切さなどの食の視点を中心に予防対策を推進しました。

## メタボリックシンドローム予防のための料理教室

岡崎市

●実施時期：平成28年1月28日、2月18日 ●対象者：一般市民

### ●内容

市民を対象としたメタボリックシンドローム予防のための料理教室を実施しました。実施にあたり、岡崎市国民健康保険の健診結果で、予防に取り組んでいただきたい30歳以上のかたには、個別に案内通知を送付しました。参加者で健診結果に異常値があるかたには、当日個別に声掛けを行い、生活習慣改善の動機づけをしました。



### ●活動の成果、今後の課題

定員を超える申し込みがあり、また参加者からは「講義・調理・試食という体験を通すことで、薄味・必要量などを実感できた」「家で作った」「野菜摂取量が増えた」などの声をいただいています。

国保加入者に個別案内通知をしましたが、参加が少ないため、魅力的な勧奨通知を行うことが今後の課題と考えています。



〈取組項目：職場での健康診断等に基づく食生活改善の推進〉

〈取組場面：地域〉

## 健康づくり提唱のつどい～野菜を食べよう2015～

公益社団法人愛知県栄養士会

●実施時期：平成27年8月30日

●対象者：県民

### ●内容

栄養士会では、県民の健康づくりを進めるため、食育推進活動を行っていますが、平成26年度に野菜摂取推進委員会を立ち上げ、野菜摂取増加に向けた取り組みを始め、平成27年8月30日には、あいち健康プラザを会場に～野菜を食べよう2015～と題し健康づくり提唱のつどいを開催しました。

野菜や健康に関する講演と展示ブースでは、栄養相談、野菜クイズ、野菜折り紙、野菜レシピ試食、おなか元気ミニ講座、パネル展示等を行いました。



### ●活動の成果、今後の課題

会場は満席で皆さん熱心に聴講されていました。展示ブースでは、特に野菜レシピの試食コーナーに列ができました。野菜折り紙やクイズコーナーは親子連れが楽しみながら参加されていました。大勢の方に野菜や健康について知識啓発を行うことができ、今後も野菜摂取を始めとする食育推進活動を進めていきます。



〈取組項目：地域における健康づくりの推進〉

〈取組場面：地域〉

## 平成27年度 愛知県歯科医師会 食育推進研修会

一般社団法人愛知県歯科医師会

●実施時期：平成28年3月10日

●対象者：愛知県歯科医師会会員及び診療所スタッフ

### ●内容

生涯おいしく楽しく食べるためには、歯や口が健康でよく噛んで飲み込めることが重要です。愛知県歯科医師会では歯科診療および学校歯科保健の現場で役立つ、食育最新情報を知ることが目的として今回、会員向け研修会を企画しました。

講演「そうだったのか食育 ～歯科医師に役立つ食育最新情報～」  
講師 東海学園大学健康栄養学部 准教授 中出美代先生



### ●活動の成果、今後の課題

生涯にわたって安全で快適な食生活を営むためには、栄養のバランスをとりながら、しっかり噛むことであり、それを通して味わい深く、心豊かな人生を営むことを目的とした食育を推進する必要がある。

このため、会員およびスタッフを対象とした研修会を開催し、食育の大切さを学び、県民への啓発に繋がりたいと考えています。

〈取組項目：地域における健康づくりの推進〉

〈取組場面：職場〉

## 蟹江町民まつり「活き生き元気コーナー」

蟹江町保健センター

●実施時期：平成27年10月

●対象者：町民

### ●内容

野菜摂取を「楽しく」「自然に」「あたりまえに」と心がけていただける機会としました。「野菜博士になろう！」と題し「季節の野菜は？」「プラス70g」等のコーナーを企画し、野菜摂取意識向上を図りました。国民栄養調査結果を表示したところ、男性にも目を引くものとなっていました。全年齢の方が参加され、親から子へ伝えたり、子が習ったことを話したり、友人どうし考えたり、畑の経験を楽しそうに語ってくださる方もあり、食に関し共に考え、日常を思い返したりする楽しい経験となりました。



### ●活動の成果、今後の課題

コーナー参加者は750名であり、多数の参加、笑顔がみられ良かったです。参加型の企画は、考える機会を提供することができ、日頃自らが学んでいることや経験を表出することができるため自己確認の効果があつたと考えます。今後も町民意識が入り込める企画を取り入れていくことが大切です。



〈取組項目：地域における健康づくりの推進〉

〈取組場面：地域〉

### (3) 食の安全に関する信頼の構築



食の安全に関する正しい知識と理解を深め、安心して健全な食生活を実践できるよう、食品表示や食品の安全性確保のための対策などについて、情報の提供や意見交換などを行い、食の安全に関する信頼の構築に取り組みました。

## 食品表示法説明会

愛知県健康福祉部保健医療局健康対策課、生活衛生課、農林水産部食育推進課  
名古屋市、豊橋市、岡崎市、豊田市

●実施時期：平成28年1月21日

●対象者：県内の食品関係事業者及びその関係事業者

### ●内容

平成27年4月1日に施行された食品表示法及び食品表示基準について理解を深めていただき、適正な食品表示がなされるように、県内の食品関係事業者及びその関係事業者を対象とした説明会を開催しました。説明会には600名以上の方に参加していただき、食品表示法と食品表示基準の説明の後、事前に受け付けた質問について回答しました。



### ●活動の成果、今後の課題

半数以上の方から理解が深まった旨アンケートの回答をいただき、食品関係事業者等の方の食品表示に対する理解を深めていただくことができました。今後も食品表示に関する理解を深めていただくため、適宜、食品表示法についての説明会を開催していきたいと思います。



〈取組項目：食品表示の適正化の推進〉

〈取組場面：地域〉

## 正しい知識でノロウィルスをやっつけよう！

愛知消費者協会 名古屋支部

●実施時期：平成28年1月18日 ●対象者：市民(会員)

### ●内容

名古屋支部では、この時期に発生し、流行が拡大する可能性が高いノロウィルス食中毒や感染症胃腸炎を正しい知識で予防し、日常生活に活かしていただきたいとの思いで取り組みました。

名古屋市中央卸売市場内食品衛生検査所と連携し、「正しい手洗い」「効果的な消毒方法」「感染者のおう吐物の適切な処理」を実習を交え学んでもらいました。

### ●活動の成果、今後の課題

食の安全とは、食品のみにとどめず、調理者、調理方法、食べる人それぞれが正しい知識を身につけて初めて安全ということができると理解できました。



〈取組項目：食の安全に関する情報提供や意見交換〉

〈取組場面：地域〉

## 岩倉市食育シンポジウム『い・わ・く・ら』で始める 食が育む豊かな心！

岩倉市

●実施時期：平成27年7月8日 ●対象者：食品衛生指導員

### ●内容

来場者に「食の大切」や「食べる健康づくり」、「食への感謝」などを伝えるとともに、食育で豊かな心を育むことを目的として開催しました。

プログラム：第1部…「奇跡のりんご」のモデル木村秋則氏と木村さんの自然栽培りんごで冷製スープを開発した「レストラン山崎」の山崎隆シェフによる対談形式の講演。

第2部：岩倉市食育推進計画の概要説明

第3部：教育や農業関係者、子育て世代の親等を交えたパネルディスカッション。

### ●活動の成果、今後の課題

市内外を問わず、たくさんの方に参加していただきました。

また、岩倉市食育推進計画を周知することができました。

また、「奇跡のりんご」のモデル木村秋則氏と木村さんの自然栽培りんごで冷製スープを開発した「レストラン山崎」の山崎隆シェフによる講演会を行った事により、食の安全に関して参加者の意識の向上に寄与することができました。



〈取組項目：食の安全に関する情報提供や意見交換〉

〈取組場面：地域〉

## 2 食を通じて豊かな心を育むために



家族や友人と楽しみながら食事をとることや、様々な農作業体験、調理実習といった体験や交流を通じて食に対する理解を深めるとともに、地域に伝わる郷土料理、食事作法等を継承するための取り組みを行いました。

### (1) 食を楽しむゆとりの確保



家庭、学校、職場などで、会話をしながら楽しく食べることは、心のいやし・心の安定をもたらします。このため、家族や友人と食事をとることのできるゆとりの確保に向けた取組を行いました。

## 豊かな心を育む「バースデーランチ」

西尾市立三和小学校

●実施時期：通年 ●対象者：誕生月の児童

### ●内容

三和小学校には、レストランをイメージさせる木製の机や照明がついたランチルームがあり、試食会や交流給食、バイキング給食で活用しています。昨年度からは、この会場で毎月1回「バースデーランチ」を行い、1年生から6年生までの同じ誕生月の児童と教職員と一緒に給食を食べ、交流しています。

小さなプレゼントとデザート、みんなで楽しむゲームは、児童にとって年に一度の特別なランチタイムです。

### ●活動の成果、今後の課題

「バースデーランチ」を通して、児童は元気に誕生日を迎えられた喜びを共有し、家族への感謝の意持ちが育っていると感じます。また、交流することで思いやりの心も育っています。今後は心を育てながら、健康に生きるための食習慣が身に着くよう考えたいと思います。



〈取組項目：給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成〉

〈取組場面：学校〉

## 食育ボード、給食サンプル提示、給食レシピ紹介の設置

刈谷市立双葉保育園

●実施時期：平成27年4月～2月 ●対象者：保育園児と保護者

### ●内容

刈谷市立双葉保育園では、保育園に食育コーナーを設けています。毎月、食材の栄養や伝統行事に関する食についての紹介等、様々な情報を提供する食育だよりを掲示し、旬の食材や簡単にできるレシピを活用していただけるように提供しました。また、給食を通して親子で、食の関心が高まるように、給食サンプルの掲示を行っています。

### ●活動の成果、今後の課題

今年度は、食育コーナーを園児や保護者の目に留まりやすいように、玄関を入ってすぐの場所に替えました。子ども、保護者の方も今までより給食サンプルを見ていくようになり、降園時には保護者の方が子どもに「今日の大根カレー、おいしそうだね」「今日はレバーだったんだね」等と声をかけています。レシピを楽しみにしている保護者も増えました



〈取組項目：給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成〉

〈取組場面：保幼〉

●実施時期：平成28年2月

●対象者：3・4・5歳児

●内容

節分の日に園庭で豆まき会をした後に、給食を食べました。この日のメニューは事前から子どもたちに話してあった「おにランチ」でした。「おにランチ」は、お皿にのせられた食材を子どもが並べることで、いろいろな表情の「おに」が完成するものでした。

子どもたちは、目・鼻・口・眉毛・髪の毛・角(つの)を思い思いに並べて(飾って)楽しみ、とてもおいしい言って食べ、たくさんのお子がおかわりをしていました。

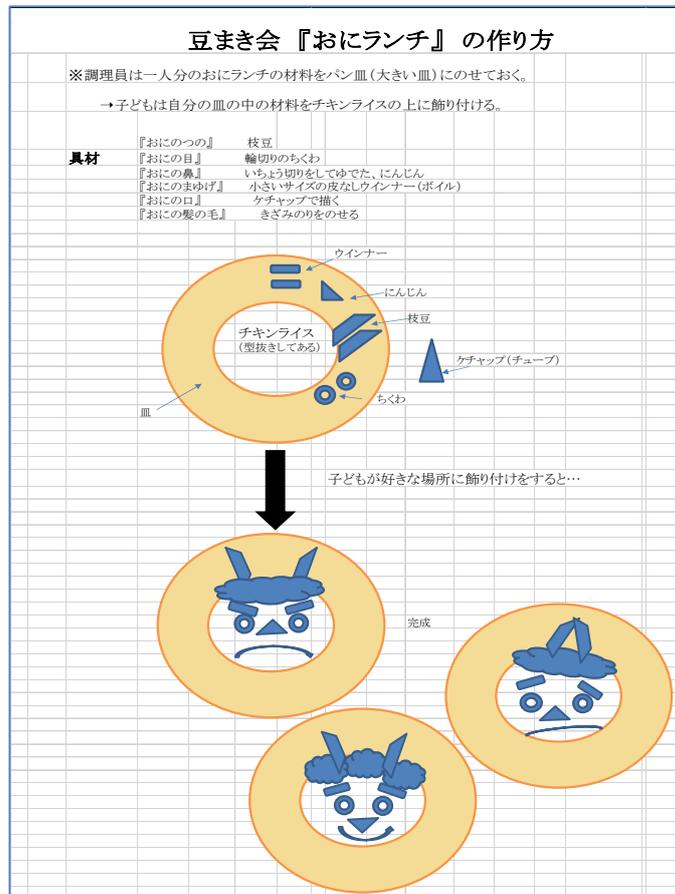
帰りの献立展示を見ながら楽しく話している親子が多くいました。

●活動の成果、今後の課題

簡単に取り入れられるクッキングを経験して、子どもも保育士も楽しく食事ができました。

「子どもが楽しんで食事をするように、また、食べることへの関心が高まるように食育を取り入れたい」と保育士の意識も高まり、今後の給食を工夫していきたいと思いました。

メニューは園児にも保護者にもとても好評で、家庭でも取り入れやすく、「悪い鬼を食べて退治する」「元気になる」という豆まき行事の趣旨も、うまく取り入れられることがよかったです。



●実施時期：平成27年8月29日

●対象者：構成組織、一般参加者

●内容

約400名が参加し、名古屋市内で開催しました。本年は、「ワーク・ライフ・バランス」をテーマとし、ゲストに八代国際弁護士を招き、仕事も家庭も自己もバランスを取って頑張っている事例を踏まえたエピソードや体験を司会者とのトークショー形式で紹介しました。

また、経営者、報道関係、NPO団体の方々をパネリストに迎え「ワーク・ライフ・バランスを取った自分の人生の楽しみ方」など、様々な目線からのディスカッションを行いました。

●活動の成果、今後の課題

ワーク・ライフ・バランスを参加者とともに考える場となりました。また、新聞に報道されるなど県民に取り組みを広める事ができました。



〈取組項目：” おうちでごはんの日” の実践促進〉

〈取組場面：地域〉

(2) 体験や交流を通じた食の理解促進



食べることへの感謝の心を育てるため、家庭・地域・学校等において、自ら料理をする機会を増やしたり、作物の栽培や収穫物の調理体験、生産者との交流など、体験や交流を通じた食の理解促進に取り組みました。

地域ボランティアさんに教わりながらの米作り体験

尾張旭市

●実施時期：平成27年6月～11月

●対象者：5歳児

●内容

毎年の園の取り組みとして、保育園と農協とが連携して実施する「バケツ稲作り」を実施しています。今までは園独自で行っていましたが、今年度より、地域のボランティアさん（奥村淳氏）に依頼し、教わりながら行うことで食への関心を深めると共に、異世代交流の中での触れ合いや知識の習得も目的とし、5か月間取り組んできました。

栽培後の行程も奥村氏より教えていただき、もみすり・脱穀の体験も行いました。

●活動の成果、今後の課題

お米の栽培は前年度様子を見、知っていた子ども達も、稲刈り・もみすり等昔ながらの用具を使って行うことで、驚きや発見・また米作りの難しさと楽しさを感じる貴重な体験となりました。

また、奥村氏への感謝の気持ちも子ども達より言葉として聞くことができました。

園単独ではなく、地域の方の力を借りながら、広い意味での知識の習得や体験につなげていきたいです。



〈取組項目：乳幼児期における食とのふれあい機会の確保〉

〈取組場面：地域・保幼〉

## 地域の企業との収穫体験

刈谷市

●実施時期：平成27年8月

●対象者：保育園児(5歳児)

### ●内容

5歳児が地域の企業(デンソー)にゴーヤの収穫とはちみつ採取体験をさせていただきました。

ゴーヤの収穫として、白いゴーヤや緑のゴーヤを収穫させていただきました。

また、プロジェクターで蜂蜜採取の工程や実際の蜂箱をみせてもらったり、蜂蜜採取体験もさせていただきました。



### ●活動の成果、今後の課題

保育園でゴーヤをいろいろな調理の仕方で子どもに提供すると「苦い」とか「白いのはあまり苦くない」などと言って食べ、ゴーヤを持ち帰り家庭でも園とは違う調理法で食べたと言っていました。



〈取組項目：乳幼児期における食とのふれあい機会の確保〉

〈取組場面：地域・保幼〉

## 地域食育応援隊(ボランティアゲストティーチャー)との協働による栽培・収穫活動

一宮市立丹陽南小学校

●実施時期：通年

●対象者：全校児童

### ●内容

地域食育応援隊の指導を受け、全校でサツマイモ・玉ねぎ・春大根の栽培活動を行っています。また、それぞれの学年が2種類程度の野菜を栽培しています。

児童は、野菜の成長を観察して記録したり、収穫後には調理して食べたりしています。

活動例として、3年生はナスを栽培し、7月にはナスパーティーと題して、ナスの料理に舌鼓を打っていました。また5年生は、栽培した大豆を加工して、豆腐や味噌づくりをしました。



### ●活動の成果、今後の課題

活動を通して、食や命への感謝、自然や人への感謝の心を養うことができています。

しかし、全作業に関わるのが難しいため、大変さや苦労までは体験できていません。できるだけ多くの作業に関われるようにしたいと思います。



〈取組項目：少年期における食に関する体験等の充実〉

〈取組場面：地域・学校〉

## どろんこアカデミー

半田市板山地区農業者有志

●実施時期：平成27年6月

●対象者：半田市在住の家族

### ●内容

地域の農業者の協力により、家族で昔ながらの田植えを体験してもらいました。

その後、水田において、徒競走・大玉ころがしリレー・親子そり競争などレクリエーションをどろんこになりながら楽しみました。

### ●活動の成果、今後の課題

田植えを体験してもらうことによりお米の作り方を学び、食の大切さを考えるよい機会となりました。

今回初めての新規事業であったが、継続して実施できるよう主体となる組織づくりの必要があります。



〈取組項目：少年期における食に関する体験等の充実〉

〈取組場面：地域〉

## 碧南水族館でのうなぎ食育教室

株式会社昭和 碧南水族館  
水産試験場内水面漁業研究所  
西三河農林水産事務所農政課

●実施時期：平成27年8月22日

●対象者：児童、保護者

### ●内容

碧南水族館において、親子40名が参加して、うなぎ食育教室を開催しました。内容は3本立で、(株)昭和から、うなぎがヌルヌルしている理由をクイズ形式で説明し、子供達に生きているうなぎを実際に触っていただきました。

続いて、水産試験場から、うなぎの種類や生態、産卵の方法や人工種苗生産の歴史、うなぎの養殖方法についてクイズを交えながら説明が行われ、うなぎの捌き方も実演しました。

農政課からは、お米・みそのお話としてJAあいち中央から提供されたあいちのかおりについて説明しました。そして、JAあいち中央管内で生産されている農産物および産直市場について簡単に説明の後、ケーキ寿司としてうなぎ蒲焼きをトッピングした押し寿司を参加者が作成し、実食しました。

### ●活動の成果、今後の課題

水族館で実際にうなぎに触れながら、また、調理体験を通して、地元の特産の水産物と農産物について理解を深めることができ、大変有意義な体験となりました。



〈取組項目：少年期における食に関する体験等の充実〉

〈取組場面：地域〉

## キッズ野菜ソムリエ講座

田原市、日本野菜ソムリエ協会

●実施時期：平成27年8月30日

●対象者：年中～小学生

### ●内容

楽しみながら、野菜・果物の魅力を学び、友達や家族へ、野菜・果物の魅力を広げていく子どもを日本野菜ソムリエ協会が任命してくれます。

当日は、トマトについて学び、トマトの食べ比べを行いました。任命後は、クイズや名刺交換等を行い、子どもたちが、野菜・果物の魅力を伝え合う交流の場となりました。



### ●活動の成果、今後の課題

子どもたちに「食」や「野菜」に関心をもってもらう良い機会となりました。

また、受講後は田原市の野菜ソムリエの組織「ベジエール渥美」と共に、各種イベントにて野菜・果物の魅力を伝える活動を行っています。

今後も、子どもから子どもへ、子どもから大人へ発信してくれるような、食育に取り組んでいきたいです。



(取組項目：幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供)

(取組場面：地域)

## 健康科学教室

「牛乳ってすごい！～牛乳でバター作り」

「発見！やさいのパワー～やさいクイズ・やさいジュースづくり」

公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団

●実施時期：平成27年12月20日、平成28年1月23日 ●対象者：小中学生・幼児・保護者

### ●内容

小中学生の時期に食事についての正しい知識を習得することは、将来の生活習慣病予防の観点から重要です。そこで、あいち健康の森健康科学総合センターでは、子どもと大人と一緒に体験できる「食」に関する教室を開催しました。

バターづくり・やさいジュースづくり体験を通して、「牛乳や野菜をおいしくとる方法」「牛乳や野菜の栄養素」について学び、日常生活での牛乳や野菜の摂取に繋がるような体験型教室を企画しました。



### ●活動の成果、今後の課題

2回の教室に合計113人の親子に参加いただきました。教室参加後に実施した小中学生を対象としたアンケートでは、94.0%が「楽しかった」、91.8%が「教室で得た知識は日常生活で役に立つ」と回答しています。

今後は、プログラムを改善して、より効果的な教室展開を図ります。



(取組項目：幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供)

(取組場面：地域)

## 美浜の海で生きている魚のつかみ取り体験！ イルカとウミガメに触って写真も撮ろう！

美浜町都市農村交流協議会

●実施時期：平成27年8月29日 ●対象者：全国の方

### ●内容

美浜町都市農村交流協議会では、年4回程度グリーン・ツー（ブルー・ツー）リズムを開催しております。平成27年8月29日には、南知多ビーチランドの協力により、「魚のつかみどり体験とイルカとウミガメにタッチ&記念写真」を実施しました。応募総数200名（49組）と大変好評で、抽選にて参加者の決定をしました。113人（24組）の家族連れなど大勢の方に参加していただきました。

ビーチランドの職員との協力のもと、魚つかみどり体験をし、その魚をバーベキュー場でさばく体験をしました。さばいた魚は海鮮汁として、お昼のバーベキューといっしょにいただきました。都会からの参加者たちは、普段できない体験に大変満足していました。

### ●活動の成果、今後の課題

ブルー・ツーリズムは毎回、大変人気のイベントです。魚つかみどり体験も大勢の方に参加していただきました。今後も、いろいろなイベントを企画して、都会の人たちが美浜町にまた来たいと思えるような企画を考えていきたいと思っています。



〈取組項目：幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供〉

〈取組場面：地域〉

## マイ竿づくりとハゼ釣り体験

西尾市

●実施時期：平成27年9月5日 ●対象者：西尾市内在住の子と保護者

### ●内容

市内在住の子と保護者21組59名が参加し、東幡豆町において市内竹やぶから伐採してきた竹を使って竿を作り、その竿を使ってハゼ釣りをしました。

釣ったハゼは、さばいて唐揚げにして食べました。普段体験のできない竿作りやハゼ釣りを実施し、東幡豆の自然に触れ、魚貝類に興味を持っていただき、生きているものをいただく感謝の気持ちを理解していただくことを目的としています。

### ●活動の成果、今後の課題

西尾市の魅力を再確認いただき、親御さん、子どもたちが、自分で何かを作ること、魚貝類に対する興味、また、食べることへの興味関心を持つことができたと思います。



〈取組項目：幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供〉

〈取組場面：地域〉

## 石釜組み立てとピザづくり

NPO法人だいきっず、コーミ株式会社、西三河農林水産事務所農政課

●実施時期：平成27年11月1日

●対象者：幼児、児童、保護者

### ●内容

高浜市豊田町のNPO法人だいきっずにおいて、公募で集まった親子13名とした、石釜の組み立てとピザづくりの食育体験が行われました。この食育体験は、高浜市こども食育ガイドラインの重点取組「自ら食事をつくる」ことを目標に、①子ども達が自ら石釜ブロックを組み立てる、②考えて火を起こし、③自ら調理することを実践したものと なっています。

また、コーミ株式会社の協力のもと、県産トマトを用いたピザソースを作り、手作り石釜では、県産野菜を用いてトッピングしたピザを焼き上げました。子ども達は、食べ物を自ら作って家族でいっしょに食べることの楽しさを肌で感じ取ることができました。

### ●活動の成果、今後の課題

NPO法人だいきっずでは、主活動として大豆プロジェクト以外にも様々な協賛団体と協力して食育活動を展開しています。

今回はコーミ(株)の県産食材を用いての取組が実現し、農政課にとっても、いいともあいち運動のPR活動ができました。



(取組項目：幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供)

(取組場面：地域)

### (3) 食文化や食事作法等の理解と継承



伝統料理などの地域の食文化への理解を促進し、継承に取り組むとともに、食物アレルギーへの理解、食事作法や所作の学びについても取り組みました。

## 茶育教室～お茶による「こころの種まき」～

愛知県

●実施時期：平成27年11月21日、22日

●対象者：小学生とその保護者

### ●内容

愛知県産の抹茶の魅力を伝え、茶のある豊かな生活を提案し、本県茶産業の振興及び日本の伝統文化の浸透を図るために茶育教室を開催しました。教室は、茶器として関わりの深い陶磁器のイベントである「ドームやきものワールド」で2日間全4回(1回約30名)開催し、講師からお茶の歴史やお抹茶とお菓子のいただき方等、簡単な作法を学びました。

また、親子でペアになり模擬茶会を楽しみ、自分で抹茶を点てる体験をしました。

### ●活動の成果、今後の課題

愛知県では、西尾市や豊田市等の西三河地域を中心に、抹茶の原料となるてん茶の生産が盛んに行われていること(生産量全国2位)をPRすることができました。アンケートでは、受講者の9割以上が、茶育教室に参加して抹茶を魅力的に感じたと答えています。今後は抹茶だけではなく、せん茶でも茶育教室を行いたいと思います。



(取組項目：子どもに対する食事作法の習得や食の多様性の理解)

(取組場面：地域)

## 食育指導(身体の機能とうんちについて)

大口町立北保育園

●実施時期：平成27年12月～28年2月

●対象者：大口町内3保育園、3歳以上児

### ●内容

年長児は、食べ物の身体の行方を知り、うんちの形や色で自分の健康状態が分かる事を理解します。年中児は親子でマイ箸を作り正しい箸の持ち方、姿勢で食事出来るよう指導します。

年少児は、色々な野菜に興味を持ち、野菜について理解しながら、三色食品群について、色別の働きを理解します。

野菜を最初に食べ、バランスよく食べて、バナナうんちを出す大切さを知ります。



### ●活動の成果、今後の課題

三色食品群の色分けは理解している子が多いです。野菜を食べる必要性も理解している様子でした。「嫌いだけど頑張って食べれるようになった、保育園ではいっぱい食べる」との声が聞かれました。

箸の持ち方においても、年中児はマイ箸を大切に扱うようになり、持ち方も正しくなってきました。箸のマナーも守れるようになってきました。ただ、箸の持ち方の習得は家庭との連携が必要であると思います。



〈取組項目：子どもに対する食事作法の習得や食の多様性の理解〉

〈取組場面：保幼〉

## 皆が食べられる学校給食の日

尾張旭市立学校給食センター

●実施時期：平成27年6月10日、7月8日、9月9日、10月14日 ●対象者：市内小中学生

### ●内容

月1回、副食から食物の7大アレルギーを除去した「皆が食べられる学校給食の日」を実施しています。



### ●活動の成果、今後の課題

皆で食事をする事の楽しさ、大切さを感じてもらうことができました。

また、アレルギーを知らない子どもたちには、少しでも知ってもらいこきかけとなりました。



〈取組項目：子どもに対する食事作法の習得や食の多様性の理解〉

〈取組場面：学校〉

## 食物アレルギーへの理解促進のための紙芝居の読み聞かせ

刈谷市教育委員会

●実施時期：平成27年4月 ●対象者：園児・小学生

### ●内容

年度初めの給食開始前に、食物アレルギーへの理解を図るため、紙芝居の読み聞かせをします。

### ●活動の成果、今後の課題

食物アレルギーのある子どもを理解することができ、安心・安全な給食への一助となりました。



〈取組項目：子どもに対する食事作法の習得や食の多様性の理解〉

〈取組場面：学校〉

## 日本各地に伝わる食材を知り、郷土料理を味わおう

江南市立学校給食センター

●実施時期：通年 ●対象者：小中学生

### ●内容

江南市では、月に1回以上日本各地の郷土料理を実施しています。給食に郷土料理を取り入れる事で、地域の食文化と環境、歴史が関わっている事や、地場産物を伝える事が出来ると考えています。

今年度は郷土料理として山形県の「どんがら汁」、奈良県の「ごんざ」、福島県の「ぞくぞく」等、地場産物として沖縄県の「田芋」、山口県の「はなっこりー」等を紹介しました。

また、地元愛知県内の郷土料理については、毎月実施しました。



### ●活動の成果、今後の課題

郷土料理は、慣れ親しんだ料理とは違うので、興味をいなく児童生徒が多くいます。

そこで、各地の農業、漁業や郷土料理の知識が深められるように、クイズ形式の放送資料を作成し、献立の紹介をしています。

郷土料理は保護者も関心があるので、今後も続けていきたいと考えています。



〈取組項目：給食における地場産物や郷土料理等の導入促進〉

〈取組場面：学校〉

## 町民を対象とした給食試食会

蟹江町給食センター

●実施時期：平成27年6月18日、19日 ●対象者：蟹江町民

### ●内容

愛知を食べる学校給食の日にちなみ、学校給食における地産地消の推進について理解と関心を深めてもらうために、広報等にて周知し、参加者を募りました。

試食会当日は、給食センターの見学、給食ができるまでをまとめたDVDを見ていただいてから、実際に給食を試食していただきました。栄養教諭から献立説明後、質問等をしていただきました。

### ●活動の成果、今後の課題

町民を対象に募集したところ、45名の参加希望がありました。参加者に、アンケートの協力をお願いし、今後の学校給食への参考意見とさせていただきます。



〈取組項目：給食における地場産物や郷土料理等の導入促進〉

〈取組場面：地域〉

## 小牧市生活改善実行グループ料理教室

小牧市

●実施時期：平成27年9月1日、平成28年1月19日 ●対象者：小牧市民

### ●内容

米の消費量を増やすことを活動の一つとして掲げる小牧市生活改善実行グループが平成27年度に市民向けの講座を行いました。

一回目は「飾り巻き寿司・巻き寿司」、2回目は「生芋こんにやくと野菜たっぷりワンプレートご飯」で小牧産の米や野菜を使い、生産農家の指導のもと簡単に楽しく作れる料理教室を開催しました。

### ●活動の成果、今後の課題

伝統料理だけでなく新しい流行も取り入れ、米や野菜が沢山取れる料理教室であったため好評でした。



〈取組項目：伝統料理、郷土料理等の提供促進と継承〉

〈取組場面：地域〉

●実施時期：平成27年8月21日

●対象者：親子12組

## ●内容

「赤しそ（大治町特産）を使ったスイーツレシピ」「はるちゃん（大治町マスコットキャラクター）をイメージするレシピ」を公募しました。

入賞したレシピを使用して、食育や地産地消を各家庭で取り入れてもらうことを目的に、親子料理教室を行いました。



## ●活動の成果、今後の課題

5組の参加があり、大治町の特産である赤しそを食材として使用するとともに、地産地消・食育について学習することができました。

みょうがの生え方等を保健推進員から教えられ、子どもだけでなく保護者も興味を持って聞いており、作物を作る方からの知識を学ぶ良い機会になったと考えます。



〈取組項目：伝統料理、郷土料理等の提供促進と継承〉

〈取組場面：地域〉



### 3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くために



食べ残しや、農林水産業への理解と地域でとれる農林水産物を積極的に消費する地産地消を進めるなど、環境に配慮した食生活の推進に取り組みました。

#### (1) 食生活における「もったいない」意識の浸透と実践



食生活における環境への負荷の軽減のため、「もったいない」意識の浸透を図り、環境に優しい料理の実践促進に取り組みました。

#### 給食における食べ残しを減らす指導

刈谷市教育委員会

●実施時期：通年

●対象者：小中学生

##### ●内容

配膳時には、適量となるごはんの量を写真で提示しています。みんなが「プラスひとくち」を心がけます。

会食中に静かに食べる「もぐもぐタイム」を取り入れて、成果をあげている学校もあります。

児童会や生徒会が中心となって食べ残しを減らす活動に取り組む学校もあります。

##### ●活動の成果、今後の課題

主食の食べ残しが減少しており、今後も継続的に取り組むことが必要です。

ごはんの量のめやす



3・4年生 およそ160g

(取組項目：子どもに対する環境負荷軽減の学習)

(取組場面：学校)

#### 親子でエコ・クッキング

西尾市

●実施時期：平成27年8月19日

●対象者：市内の子と保護者

##### ●内容

市内の子と保護者12組26名が参加し、愛知県産小麦の新品種「きぬあかり」の小麦粉、西尾の抹茶、地元の野菜などを使って、東邦ガス株式会社の協力により、食材を無駄なく使い、エネルギーや水を大切に、ゴミを減らすエコな調理で美味しく楽しく親子でエコ・クッキングを実施しました。



##### ●活動の成果、今後の課題

今まで何気なくしていた洗いや物の仕方、ガスの火力、食材の調理法が、ちょっとしたことでエコに繋がることが分かりました。子どもたちも楽しみながらエコについて勉強できました。



(取組項目：環境に配慮した食生活の実践)

(取組場面：地域)

## (2) 農林水産業への理解と地産地消の一層の推進



農林水産業が持つ多面的な役割などの正しい理解と身近な農林水産物の消費や利用を促進するため、学校や地域などで県内産農林水産物の積極的な利用促進に取り組みました。

### 親子工場見学会～うずら卵のルーツを探ろう～

公益財団法人愛知県学校給食会

●実施時期：平成27年8月20日

●対象者：県内の小学生親子

#### ●内容

この取組は、学校給食で使用されている食材がどのようにして製造されているかを学習するもので、今年は、愛知県が全国シェア70%（全国第1位）を占め、子どもたちに大変人気のあるうずら卵について学習しました。

うずらのふ化農家や養鶏農家、うずら卵の缶詰工場の3ヶ所を県内の小学生親子16組32名が見学しました。

詳細については、当財団ホームページをご覧ください。

<http://aigaku.org/>



#### ●活動の成果、今後の課題

うずらの誕生からうずら卵が製品になるまでを実際に目で見て学習することにより、学校給食の食材の過程や地場産物の知識を高めていただきました。

参加者からは、普段目にするのでできない工場内を見学できたり、うずら卵の製造過程がよくわかり、勉強になりましたなどの感想をいただきました。



〈取組項目：子どもに対する地産地消の理解と利用の促進〉

〈取組場面：地域〉

### 小麦品種「きぬあかり」の普及推進

愛知県

●実施時期：通年

●対象者：県民

#### ●内容

県農業総合試験場が開発したうどん・きしめんに適した小麦品種「きぬあかり」を「あいちブランド」として普及推進し、地産地消を進める取組を実施しています。

今年度は、昨年度に引き続き、ホームページにおいて、産地情報等を積極的に発信しました。

また、国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を活用し、レシピコンテストの実施、PRグッズの作成・配布等及び交通広告によるPRを行いました。

#### ●活動の成果、今後の課題

関係団体が主催する全国うどんサミットへの出展等を支援し、県民の方々にPRすることができました。また、レシピコンテストや交通広告を実施し、「きぬあかり」を見て、知って、食べてもらう機会を提供することができました。



〈取組項目：青年期以降における地産地消の実践〉

〈取組場面：地域〉

## 親子で楽しくクッキング！ ～しょくまるファイブと一緒に学ぶ バランスの良い食事～

刈谷市

●実施時期：平成28年1月31日

●対象者：市内在住の小学生とその保護者

### ●内容

刈谷の切干大根を使った料理の研究をしている愛知教育大学の西村敬子名誉教授を講師とし、刈谷の特産物である「切干大根」をメインの食材とした料理教室を開催しました。

レシピは、いろいろ食感白菜ロール（本年度開催の『究極のしょくまる包料理！～食まる5人をそろえよう～』コンテストグランプリレシピ）や、レタス包みチャーハン（同コンテストの準グランプリレシピ）です。

調理実習だけでなく、大根に関するお話も行いました。



### ●活動の成果、今後の課題

親子で楽しく一緒に調理を行い、地元の食材に親しみ、その調理方法を身につけていただくことで、親子のふれあいの活性化、地産地消の浸透に繋がったと思います。



（取組項目：青年期以降における地産地消の実践）

（取組場面：地域）

## 安城出身料理研究家 寺田真二郎さんによる地産地消推進イベント

安城市

●実施時期：平成27年8月2日、12月6日

●対象者：関心のある方

### ●内容

安城出身の料理研究家である寺田真二郎さんを招き、8月にクッキング&トークショー、12月に料理教室を開催しました。

安城市の特産品であるナシをすりおろして南蛮漬けに使用したり、きゅうりを餃子に入れたり、アイデア溢れる寺田さん考案のレシピで料理を披露・体験していただき、参加者にお楽しみいただきました。

また、そのレシピを安城市公式ウェブサイト「望遠郷」に掲載し、より多くの方に周知しました。



### ●活動の成果、今後の課題

参加者は市内外からの参加であったので、安城市の特産品のPRをするよい機会となりました。

また、「食」に関する興味を深めていただくことができました。



（取組項目：青年期以降における地産地消の実践）

（取組場面：地域）

## 和食の食文化をいただきます

西尾市

●実施時期：平成28年1月7日

●対象者：西尾市内在住在勤者

### ●内容

市内在住、在勤の35名が参加し、西尾市歴史公園内、尚古荘において地元食材を使った料理を食べながら、和食の食文化について学びました。食事後は、西尾の特産物である抹茶をいただきました。



### ●活動の成果、今後の課題

料理を作る講座は多いですが、和食の食文化について勉強する機会は少ないため、大変参考になりました。

西尾市歴史公園内、尚古荘を知っていただけたのも良かったです。



〈取組項目：青年期以降における地産地消の実践〉

〈取組場面：地域〉

## へきなん美人レシピコンテスト

碧南市、碧南商工会議所、JAあいち中央碧南人参部会

●実施時期：平成28年1月30日

●対象者：市内外全ての人

### ●内容

「碧南人参の日」記念事業の一環として平成26年度より開催しています。碧南のブランド人参であるへきなん美人の特徴を活かしたレシピを募集し、集まったレシピの中から上位5作品の2次審査を行いました。

審査項目にて地産地消率を考慮することとなっているため、地元の食材に目を向けていただく良い機会となっています。

### ●活動の成果、今後の課題

最優秀賞受賞作品を産直に設置し、市民の方々へ周知しました。



〈取組項目：生産者と消費者の思いを伝える農林水産業の実現〉

〈取組場面：地域〉

### (3) 農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底



農林水産業における化学肥料や化学合成農薬の低減や資源循環の推進、食品産業における食品リサイクルの推進など、生産・流通する側も「もったいない」意識を持って環境への配慮に取り組みました。

#### 資源管理の取組の推進

愛知県

●実施時期：平成27年度      ●対象者：県内漁業者

##### ●内容

水産資源を有効に利用するため、再生産と漁獲のバランスをとりながら資源を適切に管理することを「資源管理」といいます。

愛知県では、県内の水産資源を維持し有効に利用するため「資源管理指針」を作成しており、漁業者はこの指針に沿って「資源管理計画」を作成し、資源の有効活用を行っています。

平成27年3月には、新たにアサリ等の貝類を対象とした資源管理計画が作成され、4月から資源管理計画に基づく操業がスタートしました。

##### ●活動の成果、今後の課題

アサリ等の貝類を対象とした資源管理計画ができたことにより、資源管理計画に参加する漁業者は千人を超え、県内の水産資源の有効利用が図られました。今後も、漁業者と協力し、水産資源を維持し有効に利用する資源管理を推進していきたいと思えます。



(取組項目：農林水産業における環境への配慮とバイオマスの利活用)

(取組場面：地域)

#### フードバンク活動応援募金

生活協同組合コープあいち

●実施時期：通年      ●対象者：コープあいち組合員

##### ●内容

コープあいちでは、組合員の皆さんに『フードバンク活動のしくみと取り組みへの思い』を発信し、「フードバンク活動応援募金」を呼びかけています（取り組み期間11～3月）。

集まった募金は、セカンドハーベスト名古屋に全額寄付し、フードバンク活動の運営経費などにあてていただきます。

##### ●活動の成果、今後の課題

1口100円と1口1000円の募金を呼びかけ、約470,000円の善意が寄せられています（2016年1月末現在）。



(取組項目：フードバンク活動の普及啓発)

(取組場面：地域)

## 4 食育を支える取組



食育を効果的に推進するため、市町村を始めとする関係者との連携を図りつつ、「食育にかかる人材の育成と活動の充実」、「関係者の役割分担とネットワークの充実」及び「いいともあいち運動の推進」について取り組みました。

### (1) 食育にかかる人材の育成と活動の充実



県民一人一人の主体的な取組がより効果的なものとなるよう、その取組を支援する人材の育成と活動の充実に取り組みました。

## 「全国都市緑化あいちフェア」で、愛知県食育推進ボランティアが大活躍～秋の実りを味わう「親子料理教室」、食について楽しく学ぶ「食育広場」～

愛知県

●実施時期：平成28年10月17日、18日 ●対象者：県民

### ●内容

「第32回全国都市緑化あいちフェア」の第3楽章「“食”～深まる秋～」(10/13～11/1)の体験プログラムとして、2つの食育イベントを開催。

「親子料理教室」は、名古屋文化短期大学教授で食育推進ボランティアでもある鳥居久雄教授を講師とし、煮味噌等3品を親子で実習しました。

「食育の広場」は、愛知県食育推進ボランティア7グループ31名が、食に関する紙芝居、ゲーム、クイズ、カルタ、絵本の読み聞かせ、海苔巻き実習を行いました。



### ●活動の成果、今後の課題

2日間で、「親子料理教室」22組51名、「食育の広場」674名の参加がありました。

「食育の広場」は、7グループが、食品の分類や栄養バランス、朝ご飯の必要性、「噛む」ことの大切さ等を手作りアイテムを使って楽しく学んでもらいました。

大規模のイベントでの経験は、その後の活動の自信につながったようです。



〈取組項目：愛知県食育推進ボランティアの育成と活動の充実〉

〈取組場面：地域〉



## 食育活動に取り組む農林関係指導者の育成と活動促進

愛知県漁業士協議会、愛知県

●実施時期：平成27年度

●対象者：県内漁業者

### ●内容

「漁業士」は、模範的な漁業経営を行い地域の指導的な役割を果たす漁業者として、県が認定した方々で、その団体である愛知県漁業士協議会は、魚食普及活動を長年行っています。

平成27年度は、愛知学泉短期大学で、栄養に関する科目を履修している学生を対象に、魚のさばき方や魚料理などを講習し、約54人の参加がありました。

### ●活動の成果、今後の課題

子供の食育を担う栄養士の卵を対象に、県産水産物の美味しさや漁業者の取組を伝えることができました。今後も引き続き事業を実施していく必要があります。



〈取組項目：食育に係る多様な人材の育成と活動の促進〉

〈取組場面：学校・地域〉

## 食の活動拠点 とまと記念館

東海市 東海市健康づくり食生活改善協議会 NPO Let's 食の絆

●実施時期：通年

●対象者：東海市民

### ●内容

東海市では、平成26年4月「東海市トマトで健康づくり条例」が制定され、身近で健康に良いトマトを使った健康づくりを推進しています。

その一環として食の拠点「とまと記念館」を平成26年11月に開館。食生活改善推進員と管理栄養士が中心となりトマトにこだわった健康ランチを提供しています。

野菜がたっぷりとれ、バランスの良い健康メニューを提供し、市民の方が食することで健康づくりの実践の場となっています。

営業時間は毎週木・金・土曜日（午前11時～午後2時）です。

### ●活動の成果、今後の課題

リピーターも多く、また他市からも来所されるなど連日賑わっています。提供しているメニューを家庭でも作ることができるようレシピカードも配布しています。

最近では、地元野菜の販売も始め、地産地消の役割も担っています。今後はPRを強化し、多くの方に食べにきていただける工夫が必要です。



〈取組項目：食育に係る多様な人材の育成と活動の促進〉

〈取組場面：地域〉

## なんの花かな？クイズカード

公益財団法人 愛知県学校給食会

●実施時期：平成28年3月

●対象者：栄養教諭・学校栄養職員

### ●内容

愛知県で出荷量の多い野菜や果物（35種類）の花の写真から野菜や果物の名前を当てるクイズカードです。

学校の食育指導用教材として給食時間など短い時間でも利用できるもので、表面に野菜・果物の花の写真、裏面の野菜・果物、断面写真などを載せたクイズカードで、指導者用にクイズヒントや産地、特徴等を載せたマニュアルもあります。基本的には当財団HPに載せ、ダウンロードし、印刷して使用していただくものです。

詳細については、当財団ホームページをご覧ください。

<http://aigaku.org/>



### ●活動の成果、今後の課題

食育活動に利用していただくように啓発していきます。

〈取組項目：食育推進資材の作成や調査・検定の実施〉

〈取組場面：学校〉

## 野菜料理プラス一品の取り組み

岩倉市、食生活改善推進員

●実施時期：通年

●対象者：岩倉市民

### ●内容

昨年度に引き続き、野菜料理のレシピ集「季節の野菜料理 プラス1品集（第2弾）」（A4版）を作成しました。H27.6月から広報（毎月1日号）で1品ずつ紹介しています。

また、商工農政課を通じて、「JA産直センター」や駅地下で開催される「野菜の広場」で季節毎に分けて作成した同レシピ集（A5版）を買い物客に配布して頂いています。



### ●活動の成果、今後の課題

保健センターを利用する人以外にも広く、食生活改善推進員の活動のPRや野菜料理の提案ができたと思います。

今後は、地場産の野菜生産者側と作り手ボランティアである食生活改善推進員が顔の見える関係を作り、生産者と消費者とのニーズや思いが伝わる支援ができれば良いと思います。



〈取組項目：食育推進資材の作成や調査・検定の実施〉

〈取組場面：地域〉

## (2) 関係者の役割分担とネットワークの充実



地域に根ざした食育を効果的に推進するため、多様な関係者が各々の強みを活かし役割分担した上で、相互に連携して活動に取り組みました。

### いちじく畑の見学

あいち尾東農業協同組合、尾張旭市

●実施時期：平成27年9月4日、11日、17日、24日

●対象者：尾張旭市内小学生

#### ●内容

尾張旭市特産品のいちじくの畑を見学してもらい、小学生のみなさんにどのようにいちじくが育って、つくられているのかを見てもらいました。

いちじく農家や農協の職員が先生となり、いちじく栽培について説明をしました。

城山小学校、旭小学校、東栄小学校、瑞鳳小学校の4校が参加。



#### ●活動の成果、今後の課題

実際の畑を見て、子どもたちは積極的にいちじくについての質問をしたり、熱心にメモやスケッチをしていました。

特産品のいちじくを知ってもらうきっかけとなり、作物がどのように育ってそこにはどんな苦労があるのかを知ってもらうことができました。

(取組項目：地域の活動主体同士の連携企画の促進)

(取組場面：地域)

### スーパーマーケットでの野菜を食べようキャンペーン

北名古屋保健センター

●実施時期：平成27年6月7日、10日

●対象者：北名古屋市民

#### ●内容

野菜摂取を増やすための啓発活動として、市内のスーパーマーケットにて啓発物の配布、ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)によるコールスローサラダの試食提供、のぼり旗の設置、フードモデルによる目標量の啓発などを行いました。



#### ●活動の成果、今後の課題

市のイベントや講演会等になかなか参加できない方に啓発することができました。

企業やボランティア等と協働することで、行政だけでは行えない活動ができ、次につなげていきたいと思えます。



(取組項目：地域の活動主体同士の連携企画の促進)

(取組場面：地域)

## 第35回蒲郡市農林水産まつり&食育フェスタ

蒲郡市農林水産まつり実行協議会

●実施時期：平成28年2月6日、7日 ●対象者：蒲郡市民

### ●内容

蒲郡市の農水産物を即売する農林水産まつりにおいて、日頃の食生活を見直す機会を創出するため、食育フェスタを同時開催しています。

当日は、愛知学泉大学、食生活改善協議会、JA蒲郡市、蒲郡栄養士会、コープあいちの5団体に出展いただき、箸を使った豆運びゲームや、味覚チェック、食に関するクイズ等さまざまな企画を実施しました。



### ●活動の成果、今後の課題

当日は、高齢の方やお子様連れのご家族など幅広い年齢層の方々にご来場いただきました。

今後も食育に関わる団体と協力し、継続的に実施していく予定です。



〈取組項目：地域の活動主体同士の連携企画の促進〉

〈取組場面：地域〉

## 旬の野菜を使ったレシピを市の公式ウェブサイトへ掲載

安城市

●実施時期：平成27年7月～ ●対象者：安城市民

### ●内容

愛知県民の野菜摂取量平均値が全国最下位の結果を受け、野菜摂取量の向上と地産地消を推進するために、旬の野菜を使ったレシピを市公式ウェブサイト「望遠郷」に毎月一度掲載しました。掲載レシピ・写真については、コープあいち西三あおみ地区食と健康アドバイザーに提供していただきました。



### ●活動の成果、今後の課題

ウェブサイトは手軽にレシピを見られるので、多くの方に見ただけでした。通年、様々な野菜がスーパーに出回るため、野菜の旬の時期が分からなくなっている中で、旬の野菜を知る良い機会になりました。



〈取組項目：食育に関する情報発信の充実〉

〈取組場面：地域〉

### (3) いいともあいち運動の推進



県内の消費者と生産者が相互理解や交流を深めたり、地産地消をすすめることで、県民のみんなで県の農林水産業を支えていこうという、いいともあいち運動の推進に取り組みました。

#### いいともあいち運動シンボルマークの貼付促進

愛知県

●実施時期：通年 ●対象者：県民

##### ●内容

愛知県版地産地消の取組である「いいともあいち運動」を広く県民の方々にアピールしていくため、いいともあいちネットワーク会員に対して、県産農林水産物を使った商品パッケージや梱包用の段ボール、包装紙などへ、運動のシンボルマークを貼付する取組を推進しました。

また、県のWEBページ「いいともあいち情報広場」にシンボルマーク商品情報を掲載し、シンボルマークを表示した商品について、広く県民にPRしました。

##### ●活動の成果、今後の課題

平成26年度までに使用された449商品に加え、27年度は、名古屋コーチンを使用した惣菜パンなど、新たに102商品にシンボルマークが使用されました。今後も、シンボルマークの貼付を通して、いいともあいち運動の認知度向上に努めていきます。



〈取組項目：運動の認知度の向上〉

〈取組場面：地域〉

#### あいちの農林水産物 PR強化月間 ～あいちをあいちでいただくぜ～

愛知県

●実施時期：平成28年2月 ●対象者：県民

##### ●内容

産出額等が全国トップレベルの名古屋コーチン、花、抹茶、あさり、うなぎ、きぬあかり（小麦）をリーディング品目としてパッケージ化し、知名度の向上を図るため、平成28年2月をあいちの農林水産物のPR強化月間と位置づけ、「いいともあいち運動」のもとに、名古屋市営地下鉄やリコモでの広告や、WEBサイト「あいちは、あいちで、いただくぜ！」の作成を行い、愛知産の品目横断的な情報発信に取り組みました。

また、「見て、聞いて、触れて、食べて」愛知の農林水産物の魅力を感じてもらえるよう、愛知県を5つのエリアに分けて、収穫体験や地元の食材をふんだんに使った食事、生産者から直接お話しが聞ける体験バスツアー及び県産農林水産物やその加工品を提供する移動販売を県内で開催されるイベント会場で実施しました。

##### ●活動の成果、今後の課題

愛知の農林水産業が生産者や流通・加工現場での努力や工夫に支えられ、各地域での特徴を活かした、とても魅力的なものであることを体験してもらうことができ、PRすることができました。



〈取組項目：県産農林水産物の利用拡大〉

〈取組場面：地域〉

### Ⅲ 県や関係団体の取組一覧

「Ⅱ 主な取組の状況」で紹介した取組を含め、プランで位置づけた県や関係団体等が平成27年度に実施した取組については、次のとおりです。

食を通じて健康な体をつくるために 		
バランスのとれた規則正しい食生活の実践		
取組主体、団体名	取組名称	
愛知県【健康対策課】	食育推進協力店登録事業	
愛知県【生涯学習課】	親の育ち」家庭教育研修会	
愛知県栄養教諭 学校栄養職員研究協議会	食育授業 「あいちの食べ物はずごいぞ！」	
愛知県栄養教諭 学校栄養職員研究協議会	学校で使用する食育教材 「愛知の伝統料理」の開発	14ページ参照
(公財)愛知県学校給食会	学校給食教室(保護者向け)	
(公財)愛知県健康づくり振興事業団	愛知県内の小中学校での「こころとからだの健康教育」	
愛西市	大型仕掛け紙芝居 「ロウくん＆バランスマン」	
愛西市食育推進専門部会	男子！自立クッキング	
愛西市地域包括支援センター	健食健口(けんしょくけんこう)教室	
あま市	給食センター栄養士の食育の授業	
安城市	野菜ソムリエによる野菜のおはなし」チラシ配布	
安城市	広報あんじょう食育特集 「ごはんを食べよう」	
稲沢市保健センター	朝食にプラスワン(乳幼児健診、集団教育)	13ページ参照
岩倉市、食生活改善推進員	まんずまんずクッキング	
岩倉市、食生活改善推進員	男性の料理教室	
岩倉市、食生活改善推進員	男子厨房に入ろう」修了者と「まんずまんずクッキング」との交流会	15ページ参照
岩倉市、食生活改善推進員	妊婦さんと赤ちゃんのお母さんの教室	
岩倉市立南部中学校、食生活改善推進員	岩倉市南部中学校カルチャー講座	
大口町立西保育園	地域支援団体 食育サポートと保育園での農作物の栽培活動	
大治町内小中学校	生産者と児童生徒の交流	
大府市	保護者及び乳幼児の朝食での野菜摂取について問診	13ページ参照
尾張旭市	離乳食教室	
尾張旭市	アグリ生活研究 食育講座 「いちじくジャム作り」	
尾張旭市	骨コソヘルスアップ教室(骨粗しょう症)	
尾張旭市	パパママ教室(妊娠期の食生活)	
尾張旭市	めざめよ！あたま！脳活大作戦	
尾張旭市	親子で元気まる測定	
尾張旭市、日立オムロンターミナルソリューションズ株式会社、パナソニックエコソリューションズ株式会社	ぐつと健康！社食ランチツアー	15ページ参照
尾張旭市教育委員会	家族とつくりよう！元気が出る朝ごはん」メニュー募集	

取組主体、団体名	取組名称	
尾張旭市学校給食センター	学校給食試食会	
春日井市	食育はじめの一步～お家でできる食育って何？～	
蟹江町	①食育指導②給食試食会③日本味めぐり	
株式会社日本ゼネラルフード	健康ランチの提供	
刈谷市	男性のための栄養教室	
刈谷市教育委員会	学校給食を教材として活用し、各教科等と関連づけた指導計画を各学校で作成	
刈谷市中央子育て支援センター	エプロンシアターを使った親子向け食育	
刈谷市中央子育て支援センター、南部子育て支援センター、北部子育て支援センター	食育に関する子育て講座の開催	
刈谷市中央子育て支援センター、南部子育て支援センター、北部子育て支援センター	手作りおやつレシピ紹介	
刈谷市立慈友保育園	野菜の栽培と食育	
高浜市こども育成グループ翼児童センター	愛知県産の新鮮な魚を使った親子料理教室	14ページ参照
知多市	野菜を食べようプロジェクト「野菜たっぷり！！ヘルシーメニュー」	16ページ参照
知多地区小中学校PTA連絡協議会	知多地区小中学校PTA指導者研修会	
知立市	かんたんやさいちりふ子どもレシピの配布	
知立市	プレママ栄養コース	17ページ参照
津島市	食育キャラクター「食まるファイブ」を使用した食育紙芝居とクイズ 寸劇	
津島市	「今月のバランス献立」の広報誌、ホームページへの掲載及びちらし配架	
東郷町給食センター	保育園訪問指導	
東郷町給食センター	学級訪問栄養指導(小学生)	
東郷町給食センター	学級訪問栄養指導(中学生)	
豊田市	食育キャラクター「たべまる」の園訪問	
豊橋市	ここにこ栄養相談	12ページ参照
豊山町保健センター	食育ひろば(食育に関する人形劇、おにぎり作り等)	
名古屋市立相生小学校	地域に学ぶ食の指導	
西尾市	米粉を使ったアイデア料理コンテスト	
半田市立小学校、中学校	食に関する指導	
半田市立平地保育園	園児農業体験(サツマイモ作り等)	
東浦町保健センター	男性健康づくり料理教室	16ページ参照

### 生活習慣病や過度な痩身等の予防

取組主体、団体名	取組名称	
(一社)愛知県歯科医師会	第5回もつと噛んで歯っぴーレシピコンテスト	
(一社)愛知県歯科医師会	平成27年度愛知県歯科医師会 食育推進研修会	18ページ参照
(公社)愛知県栄養士会	健康づくり提唱のつどい～野菜を食べよう2015～	18ページ参照
岩倉市、食生活改善推進員	食生活改善推進員主催の栄養教室	
岡崎市	メタボリックシンドローム予防のための料理教室	17ページ参照
尾張旭市	あなたのためのちよいせ道場	
蟹江町保健センター	蟹江町健康まつり「活き生き元気コーナー」	19ページ参照
小牧市	食育講演会「楽しく食べて、健康に！」	
知立市保健センター、食育推進ボランティアグループ米太郎、コープあいち、西三河農林水産事務所農政課	第23回知立市福祉健康まつり食育コーナー	

## 食の安全に関する信頼の構築

取組主体、団体名	取組名称	
愛知県 健康対策課、生活衛生課、食育推進課】、名古屋市、豊橋市、岡崎市、豊田市	食品表示法説明会	19ページ参照
愛知県 生活衛生課】、(一社)愛知県食品衛生協会	自主衛生管理相談員研修会	
愛知県 生活衛生課】、JAあいち経済連、雪印メグミルク豊橋工場	現地見学型リスクコミュニケーション	
愛知消費者協会名古屋支部	正しい知識でノロウイルスをやっつけよう!	20ページ参照
愛知県 食育推進課】	一般消費者向けの食品表示研修会の実施	
岩倉市	岩倉市食育シンポジウム「いわくら」で始める 食が育む豊かな心!	20ページ参照

食を通じて豊かな心を育むために



## 食を楽しむゆとりの確保

取組主体、団体名	取組名称	
愛知県西三河農林水産事務所農政課	食育の日 庁内放送	
刈谷市立双葉保育園	食育ボード食品サンプル提示、給食レシビ紹介の設置	21ページ参照
小牧市	おうちでごはんの日 庁内放送	
知立市	公用車の放送での啓発活動	
飛島村	食育月間及び食育の日周知	
西尾市立三和小学校	豊かな心を育む「バースデーランチ」	21ページ参照
日本労働組合総連合会愛知県連合会	連合男女平等月間キャンペーン街頭活動	
日本労働組合総連合会愛知県連合会	連合愛知タウンミーティング「働くことを軸とする安心社会」Vol.4	23ページ参照
碧南市立鷺塚保育園	給食が楽しみになる環境づくり	
碧南市立築山保育園	節分の豆まき会で「おにランチ」	22ページ参照

## 体験や交流を通じた食の理解促進

取組主体、団体名	取組名称	
(公財)愛知県学校給食会	親子食育体験教室(れんこん掘り)	
(公財)愛知県学校給食会、愛知県教育委員会	第10回記念あいちの味覚たっぶり! わが家の愛であ朝ごはんコンテスト	
(公財)愛知県健康づくり振興事業団	健康科学教室「牛乳ってすごい! ~牛乳でバターづくり~」発見! やさいのパワー~やさしいクイズ やさいジュースづくり~」	26ページ参照
愛西市、JAあいち海部	トマト加工用 トマト収穫体験 ケチャップづくり体験教室	
愛西市教育委員会	親子教室「クリスマスケーキづくり」	
愛西市農畜産業振興会	愛西市アグリぐるぐるスクール	
愛西市立保育園	招待給食(親におにぎり等を食べてもらう)	
一宮市	我が家の野菜料理コンテスト「いちのみや」	
一宮市立丹陽南小学校	地域食育応援隊(ボランティアゲストティーチャー)との協働による栽培収穫活動	24ページ参照
NPO法人だいきづ、コーミ株式会社、西三河農林水産事務所農政課	石釜組み立てとピザづくり	28ページ参照
大口町立南保育園	南地域食育サポートの方との交流(カレーパーティー)	
尾張旭市	地域ボランティアさんに教わりながらの米作り体験	23ページ参照

取組主体、団体名	取組名称	
尾張旭市学校給食センター	夏休み親子料理教室	
尾張旭市学校給食センター	あつらしいいなこんな給食	
尾張旭市学校給食センター	食育講演会	
株式会社昭和、碧南水族館、水産試験場内水面漁業研究所、西三河農林水産事務所農政課	碧南水族館でのうなぎ食育教室	25ページ参照
刈谷市	地域の企業との収穫体験	24ページ参照
刈谷市	子育てカレッジ 欠人のための食まるファイブ～食育ってなあに？～	
刈谷市	親子農業体験教室 親子農作物収穫体験教室	
刈谷市	パパと作ろう！しょまるヘルシー餃子	
刈谷市南部子育て支援センター	畑の栽培や収穫を通して野菜に親しもう	
刈谷市立かりがね保育園	夏野菜を育てて食べよう	
刈谷市立さくら保育園	保育園での野菜の栽培	
刈谷市立東刈谷保育園	保育園での夏野菜の栽培	
刈谷市立日高保育園	保育園での野菜の栽培	
刈谷市立富士松北保育園	刈谷の「欠根」を育てよう！食べよう！	
刈谷市立富士松南保育園	「このお米は何になるのかな？これはお餅になるんだよ！」	
幸田町	夏休み子ども農業体験教室	
したら保健福祉センターいきいきしたら計画こども部会	おいしい味探し体験3 みそ おやき作り体験」	
新城市食育推進協議会	親子食育体験 野菜スイーツ作り教室」プランター野菜作り教室」	
生活協同組合コープあいち	こんにゃくを自分で作ってみよう	
瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会	小学生農業体験(田植えから稲刈り)	
瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会	親子農業体験(米作り野菜作りイモ作り餅つき)	
武豊町家庭教育協議会	田んぼの教育	
武豊町農業委員会	保育園児、小学生等のさつまいも作り体験	
田原市、日本野菜ソムリエ協会	キッズ野菜ソムリエ講座	26ページ参照
東郷町	東郷町ふるさと農園	
飛島村	収穫体験学習(とうもろこし、じゃがいも)	
飛島村	農業祭、健康福祉祭での農産物を使ったジャム等の試食	
豊川市	食育キッチンファームの開催	
豊根村	山里食育まつりh茶臼山高原いも煮会	
西尾市	小学生の稲づくり農業体験	
西尾市	稲刈りと五平餅づくり体験	
西尾市	マイ竿づくりとハゼ釣り体験	27ページ参照
西尾市	親子で手作りケチャップとピザづくり教室	
西尾市	にしお食育街頭キャンペーン	
半田市板山地区農業者有志	どろんこアカデミー	25ページ参照
半田市児童体験農業実行委員会他	児童体験農業(稲作体験等)	
半田市成岩児童センター	JA食農講座(大豆から豆腐とおからサラダ)	
半田市農業経営士会	食のフェスティバル(講演 調理実習)	
半田市立岩滑こども園	野菜等の栽培、収穫体験	

取組主体、団体名	取組名称	
碧南市社会福祉協議会西端保育園	西端下区再青会の方たちとのじゃがいも掘り	
美浜町都市農村交流協議会	美浜の海で生きている魚のつかみ取り体験！イルカとウミガメに触って写真も撮ろう！	27ページ参照
守口大根漬物組合、(株)扶桑守口食品、扶桑町	守口大根収穫体験及び粕漬け体験学習	

### 食文化や食事作法等の理解と継承

取組主体、団体名	取組名称	
愛知県 園芸農産課】	茶育教室～お茶による「こころの種まき」～	28ページ参照
愛知県 園芸農産課】	愛知県茶会の開催	
(公財)愛知県学校給食会、愛知県教育委員会	学校給食献立コンクール	
(公財)愛知県学校給食会	愛知の郷土料理講習会	
大口町立北保育園	食育指導(身体の機能とうちについて)他	29ページ参照
大治町保健推進員	はるちゃんレシピ 赤しそスイーツレシピ夏休みおやこクッキング教室	32ページ参照
尾張旭市	農政講座(手作りみそ作りいちじくジャム作り米粉ピザ作り)	
尾張旭市	ふれあい給食	
尾張旭市学校給食センター	皆が食べられる学校給食の日	29ページ参照
尾張旭市学校給食センター	クリスマス親子料理教室	
蟹江町給食センター	町民を対象とした給食試食会	31ページ参照
刈谷市	親子で体験「おこしもの」づくり～おこしものでしょくぱるファイブを作ってみよう～	
刈谷市学校給食センター	リーフレットで学校給食の歴史と地元産食材について紹介	
刈谷市教育委員会	食物アレルギーへの理解促進のための紙芝居の読み聞かせ	30ページ参照
江南市立学校給食センター	日本各地に伝わる食材を知り郷土料理を味わおう	30ページ参照
小牧市	小牧市生活改善実行グループ料理教室	31ページ参照
飛島村	学校給食への地元農産物の導入	
半田市食生活改善推進員連絡協議会	郷土の味 再発見！アレンジ箱寿司教室	
弥富市 4Hクラブ	弥富市 4Hクラブ もちつき会	

食を通じて環境に優しい暮らしを築くために



### 食生活における「もったいない」意識の浸透と実践

取組主体、団体名	取組名称	
愛知県 環境活動推進課】	環境学習に関する資料等の活用推進	
刈谷市	パパと作ろう！エコクッキング講座	
刈谷市教育委員会	給食における食べ残しを減らす指導	33ページ参照
ごみゼロ社会推進あいち県民会議	先進事例の視察	
西尾市	親子でエコクッキング	33ページ参照

## 農林水産業への理解と地産地消の一層の推進

取組主体、団体名	取組名称	
愛知県 園芸農産課】	小麦品種 きぬあかりの普及推進	34ページ参照
(公財)愛知県学校給食会	親子工場見学会～うずら卵のルーツを探ろう～	34ページ参照
安城市	地産地消紙芝居 安城はおいしいものでい～っぱい」の作成及び披露	
安城市	安城出身料理研究家寺田真二郎さんによる地産地消推進イベント	35ページ参照
尾張旭市観光協会、尾張旭市商工会、JAあいち尾東、尾張旭市	市役所ロビーにて特産品販売	
刈谷市	地元の食材をつかって親子で作ろう！ 究極のしょくまるの包料理！～食まる5人をそろえよう～」コンテスト	
刈谷市	親子で楽しくクッキング！～しょくまるファイブと一緒に学ぶ バランスの良い食事～	35ページ参照
小牧市	地元のお祭りでの地元野菜の販売	
JAあいち尾東、名古屋産業大学、尾張旭市	田んぼアート	
生活協同組合コープあいち	稲作体験交流会	
豊川市	農作物や加工品のPRのための農業市の開催	
豊橋田原広域農業推進会議	食農教育推進事業(「トマト選果場見学と高濃度ミニトマトの収穫等)	
西尾市	地産地消料理教室「江戸時代の料理に学ぶ」	
西尾市	和食の食文化をいただきます	36ページ参照
西尾市	地産地消料理教室	
碧南市	へきなん美人レシピコンテスト	36ページ参照

## 農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底

取組主体、団体名	取組名称	
愛知県 水産課】、県内漁業者	資源管理の取組の推進	37ページ参照
愛知県 資源循環推進課】	多量排出事業者における産業廃棄物処理計画書の作成	
生活協同組合コープあいち	フードバンク活動応援募金	37ページ参照

## 食育を支える取組



## 食育にかかる人材の育成と活動の充実

取組主体、団体名	取組名称	
愛知県漁業士協議会、愛知県 水産課】	食育活動に取り組む農林関係指導者の育成と活動促進	39ページ参照
愛知県 食育推進課】	全国都市緑化あいちフェア」で、愛知県食育推進ボランティアが大活躍～実りの秋を味わう 親子料理教室」、食について楽しむ食育広場」～	38ページ参照
愛知県 食育推進課】	あいち食育いきいきミーティングの開催	
(公財)愛知県学校給食会	なんの花かな？クイズカード	40ページ参照
岩倉市	食生活改善推進員研修会	
岩倉市、食生活改善推進員	愛知県食育推進ボランティアとして ふれあい市場まつり2015」に参加	
岩倉市、食生活改善推進員	野菜料理プラス一品の取り組み	40ページ参照
尾張旭市学校給食センター	給食センターの見学	
刈谷市教育委員会	各校の食育推進事例を学校間で共有	

取組主体、団体名	取組名称	
生活協同組合コープあいち	コープあいち食育読本 子育てイキイキBOOK食育って楽しい!	
東海市 東海市健康づくり食生活改善協議会 NPO Let's 食の絆	食の活動拠点 とまと記念館	39ページ参照
津島市	食生活改善推進員の活動援助と養成講座	
農村輝きネットあいち	輝きネットあいちの技人認定式及び研修会	
みよし市食育推進会議	産業フェスタでの食生活診断実施	

### 関係者の役割分担とネットワークの充実

取組主体、団体名	取組名称	
あいち尾東農業協同組合、尾張旭市	いちじく畑の見学	41ページ参照
安城市	食育推進会議の開催	
安城市	旬の野菜を使ったレシピを市の公式ウェブサイトへ掲載	42ページ参照
安城市農畜産物特産品協議会	産官学連携事業 安城産きゅうりを使ったレシピ開発と普及啓発	
岩倉市、保健推進員、食生活改善推進員	保健推進員活動における栄養教室	
岩倉市健康づくり推進協議会	健康フェア(市民ふれ愛まつり)	
蒲郡市農林水産まつり実行協議会	第35回蒲郡市農林水産まつり&食育フェスタ	42ページ参照
北名古屋保健センター	スーパーマーケットでの野菜を食べようキャンペーン	41ページ参照
小牧市	いきいきこまき(食育ブース)	
丹羽郡大口町	食育担当実務者連絡会議	

### いいともあいち運動の推進

取組主体、団体名	取組名称	
愛知県 食育推進課】	いいともあいち運動シンボルマークの貼付促進	43ページ参照
愛知県 食育推進課】	6次産業化 地産地消ビジネスフェアの開催	
愛知県 食育推進課】	いいともあいち推進店の登録推進	
愛知県 食育推進課】	あいちの農林水産フェアの開催	
愛知県 農林水産部各課】	あいちの農林水産物PR強化月間～あいちをあいちでいただげ～	43ページ参照

## IV 愛知県食育推進会議について

愛知県では食育基本法に基づき、県条例で食育推進会議を設置し、食育推進計画の作成及びその実施を推進しています。

### 愛知県食育推進会議委員名簿

平成 28 年 6 月 16 日現在（五十音順、敬称略）

氏 名	所 属・役 職 等	備考
おおむら ひであき 大村 秀章	愛知県知事	会長
いとう ふじこ 伊藤 富士子	公益社団法人愛知県医師会 理事	
いのうえ しょうご 井上 庄吾	愛知県農業協同組合中央会 専務理事	
うえだ けいこ 上田 慶子	社会福祉法人愛知県社会福祉協議会保育部会 副部会長	
うおずみ あきこ 魚住 亜紀子	生活協同組合コープあいち 商品活動推進部商品活動課長	
うめだ よしひろ 梅田 佳宏	日本労働組合総連合会愛知県連合会 社会政策局長	
おがわ かきち 小川 嘉吉	愛知県農業経営士協会 会長	
かこ みつよ 加古三津代	公益財団法人愛知県学校給食会 理事長	
きむ てすん 金 兌勝	一般社団法人愛知県薬剤師会 常務理事	
くらち なおゆき 倉地 直之	愛知県酪農農業協同組合 参事	
くりき せつこ 栗木 節子	愛知県国公立幼稚園・子ども園長会 副会長	
こいけ くるみ 小池 くるみ	日本チェーンストア協会中部支部 参与	
こんどう じゆんこ 近藤 順子	愛知県小中学校 P T A 連絡協議会 副会長	
さかい せいこ 酒井 映子	愛知学院大学 教授	
さつき みき 佐々 美紀	公益社団法人愛知県栄養士会 副会長	
せんたか よこ 仙田佳代子	公募委員	
たかの のぶえ 高野 信枝	愛知県食生活改善推進員連絡協議会 副会長	
とりい ひさお 鳥居 久雄	一般社団法人愛知県調理師会 副会長	
はやし ゆかり 林 紫	愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会 会長	
まるやま おさむ 丸山 修	公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団 常務理事	
みやざき ゆきえ 宮崎 幸恵	愛知県小中学校長会給食委員会 委員長	
みやまき ちづる 宮脇 千鶴	愛知消費者協会 尾北支部会員	
むらまつ けいこ 村松 桂子	農村輝きネット・あいち 会長	
もり ゆうじ 森 勇示	国立大学法人愛知教育大学 教授	
やぎ みつよ 八木 光世	中日新聞社編集局生活部 部長	
やまもと まる 山本 衛	愛知県経営者協会総務・企画部 部長	
わたなべ まさおみ 渡邊 正臣	一般社団法人愛知県歯科医師会 会長	
わで たかひろ 和出 隆治	愛知県漁業協同組合連合会 代表理事常務	
ひらまつ なおみ 平松 直巳	愛知県教育委員会教育長	
かとう まさひと 加藤 正人	愛知県農林水産部長	

## 付録

# 愛知県における平成 26 年度、27 年度食育の優良活動表彰の受賞者について

農林水産省が実施する「第 2 回食と農林漁業の食育優良活動表彰」、「第 3 回食と農林漁業の食育優良活動表彰」において消費・安全局長賞と農林水産大臣賞を受賞しました。

また、内閣府が実施する「平成 27 年度食育推進ボランティア表彰」において 1 団体 1 個人が内閣府特命担当大臣表彰を受賞しました。

## 1 「第 2 回食と農林漁業の食育優良活動表彰」〈平成 26 年度〉の「消費・安全局長賞」受賞

合資会社 野田味噌商店

小中学生を対象に、大豆づくり、味噌造り体験、その味噌を使った五平餅作りの連携授業を実施し、食文化の伝承に取り組んでいます。

高さ 3 メートル、直径 3 メートルの巨大な木桶が並んだ味噌蔵の見学を小中学生に受け入れ、地元の小中学生を対象として、4 年生大豆づくり、5 年生味噌授業、6 年生味噌造り、中学生にその味噌を使った連携授業を実施し、食文化を伝承しています。

また、とよたの郷土食である「五平餅」の調理実習による食育体験を実施しており、派遣要請のあった小中学校に出向いて活動しています。



五平餅作り

## 2 「第 3 回食と農林漁業の食育優良活動表彰」〈平成 27 年度〉の「農林水産大臣賞」受賞

特定非営利活動法人だいずきっず

高浜市内の小学校、特別支援学校等の親子等を対象に、「食育」「共食」「パイフワード」をテーマとして、大豆の種蒔きから収穫、豆腐作りまでの一連の過程を体験する「だいずプロジェクト」を実施しています。

高浜市こども食育推進協議会に所属し、農業指導者、学生、地元協力企業群の協力を得て、子どもの食育体験活動に取り組んでいます。

また、海外支援団体と連携し国内留学生やケニア等とも国際交流を深めています。



だいずの種蒔き

### 3 「平成27年度食育推進ボランティア表彰」の「内閣府特命担当大臣表彰」受賞



#### (1) 愛知教育大学名誉教授 西村敬子氏

愛知教育大学在職中に、子どもたちに栄養バランスや食の大切さを分かりやすく伝えるため、学生と一緒に5色に色付けしたキャラクター『食まるファイブ』を誕生させ、それを活用した音楽やポスター、グッズを普及させるほか、食育劇や料理教室を開催し、子どもから大人まで楽しく学んでもらうことに努めました。

現在も食育推進ボランティア「食まる応援団刈谷」の顧問として熱心に活動しています。



『食まるファイブ』を使った食育活動

#### (2) 名古屋学芸大学 Canteen

名古屋学芸大学管理栄養学部にて在学中の管理栄養士を目指す学生で構成される部活動で、「適量で、栄養バランスの良いヘルシーメニューを多くの人に知ってもらう」を目的として、学生食堂の献立を考えることから始まりました。

現在は2か所の学生食堂での食事提供のほか、オープンキャンパスでの献立作成、市民交流館でのランチの提供、なごやファーマーズマーケットへのレシピや試作品の提供、地域市民を対象とした料理教室の開催などを行っています。



名古屋学芸大学 Canteen  
「学食前の看板」

#### ※表彰事業について

- 農林水産省の『食と農林漁業の食育優良活動表彰』とは  
食文化の継承や農林漁業体験機会の提供を通じて、農林水産業への理解と食への感謝の念の醸成、食生活の健全化に資する優れた食育活動を行う農林漁業関係者や食品事業者、学校等を表彰するもの。
- 内閣府の『食育推進ボランティア表彰』とは  
特に若い世代を対象とした食育活動の推進を奨励するため、他の地域においても参考となりうるような先進的な取組をしているボランティアを表彰するもの。



Aichi Food Education Report  
2016

